

■口演 1

1 日目 (3 月 6 日) 9:10 ~ 9:55

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

情報・通信・セキュリティ 1

座長 岩瀬 史明 (山梨県立中央病院 救急科)
末永利一郎 (総合病院山口赤十字病院 医療情報課)

- 01-1 本部における情報解析ツールの作成と使用経験
大阪府立中河内救命救急センター 臨床工学室 西島 章
- 01-2 糖尿病患者に対する LINE による双方向性の情報伝達システムの構築
熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 西田 健朗
- 01-3 災害発生時のスマートメーター活用による通電状況の把握について
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 古田 宏
- 01-4 当院で構築した災害時傷病者受け入れのための情報共有システムについて
大阪公立大学医学部附属病院 救命救急センター 小林 颯平
- 01-5 当院の職員安否確認の現状と今後の課題
埼玉医科大学国際医療センター 小室 奈央
- 01-6 災害薬事コーディネーター研修におけるクロノロジー共有アプリの実証実験
福岡大学薬学部救急・災害医療薬学研究室 吉田 奈央

■口演 2

1 日目 (3 月 6 日) 10:00 ~ 10:45

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

情報・通信・セキュリティ 2

座長 渡部 広明 (島根大学医学部附属病院 災害医療・危機管理センター)
奥野 史寛 (埼玉県済生会加須病院 災害対策室)

- 02-1 発災時におけるメッシュネットワークにより延伸した複数衛星回線の有効利用の一考察
奈良先端科学技術大学院大学 辻井 高浩
- 02-2 災害時の多職種連携における情報共有基盤の現状と課題、将来展望
徳島大学環境防災研究センター 坂東 淳
- 02-3 災害時通信途絶下における在宅避難者支援を目的とした音声信号変換型アプリケーションによる文字情報伝達システムの開発にむけた実験報告
東海大学医学部看護学科 大山 太
- 02-4 GIS を活用した空間分析による医療機関別の想定浸水高および推定計測震度の算出
福島赤十字病院 三浦 有樹
- 02-5 情報共有で災害への備えを高める
～オンライン連携会議による地域多職種連携の取り組み～
地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 (千葉県) 井上 武
- 02-6 災害時の船舶を利用した通信回線
三田市民病院救急 橋本 直樹

■口演 3

1 日目 (3 月 6 日) 10:50 ~ 11:35

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

情報・通信・セキュリティ 3

座長 木野 毅彦 (日本医科大学付属病院 外科系集中治療室)
市原 正行 (国立病院機構本部DMAT事務局)

- 03-1 DMAT 活動拠点本部設置訓練から判明した院内設備 (衛星携帯端末関連) 改善の必要性
松山赤十字病院 上田 晃三
- 03-2 情報伝達訓練を経て、発災時に必要な情報集約について見直した報告
川崎医科大学総合医療センター 十川 滯
- 03-3 DX を活用した病院防災訓練における CSCA の確立
-Digital Transformation による情報共有 -
京都山城総合医療センター DMAT / 京都山城総合医療センター 事務局 坪井 和祥
- 03-4 Microsoft365 Platform を活用した EMIS データの可視化の仕組みづくり
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 竹岡 修
- 03-5 災害時に勤務調整のために必要な情報と連絡手段の検討
筑波大学附属病院 看護部 田中 聡壮
- 03-6 訓練における活動拠点本部への高速衛星インターネット環境の仮設置の 1 例
総合病院山口赤十字病院 末永利一郎

■口演 4

1 日目 (3 月 6 日) 11:40 ~ 12:30

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

安全・衛生・アクセス対策

座長 伊関 憲 (福島県立医科大学医学部 救急医療学講座)
馬渡 博志 (熊本大学病院災害医療教育研究センター)

- 04-1 令和 6 年能登半島地震における志賀原子力発電所関連設備の損傷と DMAT の移動経路
の潜在的危険性について
富山県防災会議原子力災害対策部会長 / 富山大学名誉教授 / 中部国際医療センター救急部門集中治療部長 奥寺 敬
- 04-2 学生の急性期被災地内災害支援活動に備える保険について
福島県立医科大学医学部 張野 春菜
- 04-3 災害支援者のメンタルヘルスに関わるソーシャルサポートについてのアンケート調査
東洋大学大学院ライフデザイン学研究科博士後期課程 山本建太郎
- 04-4 原子力災害時に活動する保健医療福祉活動チームの放射線防護措置に関する指針の提言
長浜赤十字病院 医療社会事業部 / 日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害救護部門 中村 誠昌
- 04-5 DMAT 活動における安全性担保についての考察
～阿武隈川水害被災病院に対する救援活動の経験から～
栞記念病院 災害救急医療部 石川 敏仁
- 04-6 組織による安全管理の違い
大浜第一病院 萩池 昌信

04-7 道路状況に応じた小型医療車両から医療コンテナへの展開を考える

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

■口演 5

1日目 (3月6日) 14:20～15:10

第6会場 (交流センター4階 第6会議室)

薬事

座長 井原 則之 (社会医療法人近森会近森病院 救急科)
林 秀樹 (岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室)

05-1 大規模災害時の医薬流通に関する根本的な課題の解決に向けて
～薬 DIG の成果と課題～

藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦

05-2 籠城を想定とした場合の薬剤在庫数の検討

社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 辻本 朗

05-3 大規模地震災害時の職能団体による病院薬剤部門支援の課題

小倉記念病院 安藝 敬生

05-4 インターネット上における医薬品過剰摂取に関する情報検索行動の解析

福岡大学 薬学部 救急・災害医療薬学研究室 江口 美佑

05-5 実動訓練型で実施した災害薬事コーディネーター育成研修

長崎大学病院災害医療支援室／長崎大学病院薬剤部 若杉 和美

05-6 南海トラフによる被害が想定される A 市内の薬局を対象とした向精神薬の
調剤業務継続に関する実態調査
—横断研究—

鈴鹿厚生病院 奥山 香

05-7 災害時における薬事トリアージの導入
～能登半島地震・輪島市保健医療福祉調整本部での活動報告～

慶應義塾大学病院 磯上 一成

■口演 6

1日目 (3月6日) 15:20～16:05

第6会場 (交流センター4階 第6会議室)

トリアージ

座長 岡本 貴大 (神戸赤十字病院 医療社会事業部)
江津 繁 (埼玉病院 看護部)

06-1 START 変法の検証結果を踏まえた新しいトリアージ法の提案

富山市消防局 木村 敏之

06-2 海上保安庁が対応した座礁船からの多人数吊上げ救助活動報告

関西空港海上保安航空基地 田代 司

06-3 トリアージへの応用を目的とした皮膚ガス計測の予備的検討

中部大学生命健康科学研究科 桐山 敬斗

- 06-4 Triage は法律かガイドラインか？
医療法人雄心会 函館新都市病院 青野 允
- 06-5 英国の重大インシデント・トリアージ・ツール（MITT）と
DMAT トリアージの組み合わせ
鳥取県立中央病院 岡田 稔
- 06-6 災害時に蘇生処置を行わない黒トリアージの傷病者は死亡確認すべきである
筑波メディカルセンター病院 救命救急センター 阿竹 茂

■口演 7

1 日目（3月6日）16:15～17:05

第 6 会場（交流センター 4 階 第 6 会議室）

搬送 1

座長 高山 浩史（信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
菊池 悠（神戸市消防局 警防部救急課）

- 07-1 南海トラフ地震発生時における高知県の回転翼機による 1 日当たりの最大搬送者数に
ついての検討
高知大学医学部 医学科 山崎 直樹
- 07-2 DMAT 機内活動マニュアルの改訂
国立病院機構本部 DMAT 事務局 池田 初男
- 07-3 ECMO Car の災害時運用に関する検討と課題
東京都立多摩総合医療センター 清水 翔平
- 07-4 取り下げ
- 07-5 全ての災害拠点病院には地上ヘリポートの準備が必要である
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座／
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 本村 友一
- 07-6 令和 6 年能登半島地震における空路ロジスティックチーム派遣医療搬送における各リ
エゾンとの調整の実際
前橋赤十字病院看護部 高寺由美子
- 07-7 能登半島地震における金沢以南医療保健福祉調整本部の搬送指揮を振り返っての分析
と課題
橋本市民病院 西 真吾

■口演 8

1 日目 (3 月 6 日) 17:15 ~ 18:00

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

搬送 2

座長 平林 篤志 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)
高寺由美子 (前橋赤十字病院 看護部)

- 08-1 大規模災害に備えるため平時から県境を超えた広域搬送を実現するクラウド救急医療システム
福井大学 医学部 救急医学 笠松 真吾
- 08-2 南海トラフ地震時における医療従事者の勤務地へのドクターヘリ搬送
— 医療従事者搬送計画の策定 —
高知医療センター 齋坂 雄一
- 08-3 ドクターヘリ本部要員の養成—令和 5 年度 DMAT 近畿ブロック訓練の経験から—
兵庫県立加古川医療センター 宮崎 大
- 08-4 日本の地震災害におけるドクターヘリの活用に関するシステムレビュー
東京慈恵会医科大学 川合 悠智
- 08-5 大規模災害時のドクターヘリのより効果的運用についての考案
～能登半島地震における中部ブロック支援と病院支援指揮所の経験から
JA 長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 田中 啓司
- 08-6 静岡県東部における広域連携協定に基づいたドクターヘリ活動の実態
順天堂大学医学部附属静岡病院 柳川 洋一

■口演 9

1 日目 (3 月 6 日) 9:10 ~ 9:45

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

保健医療福祉調整本部

座長 小笠原 賢 (青森県立中央病院)
藤原 弘之 (岩手医科大学 医学部救急・災害医学講座)

- 09-1 DMAT ロジスティックチーム非登録者が立ち上げた活動拠点本部活動の検証
公立能登総合病院 圓角 文英
- 09-2 都城北諸県医療圏における地域保健医療福祉調整本部体制の構築に向けた取り組み
～ DMAT 業務調整員および MSW としての視点から～
都城市郡医師会病院 平川 薫
- 09-3 令和 6 年能登半島地震における能登町健康福祉課での保健医療福祉調整本部リエゾン
要員としての活動経験
岡山大学病院 看護部 E I C U 三橋 乙矢
- 09-4 浜松市における保健医療福祉に関する情報連携
浜松市 健康福祉部 西崎 公康
- 09-5 保健医療福祉調整本部における看護師派遣調整とその人材育成の必要性
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 千島佳也子

■口演 10

1日目(3月6日) 9:50～10:40

第7会場(交流センター4階第7会議室)

自然災害 1

座長 上村 修二(札幌医科大学 医学部病院管理学)

百武 宏志(国立国際医療研究センター病院 薬剤部/医療安全管理室)

010-1 医療福祉専門ボランティアによるコミュニティ防災力向上の試み

喜望会谷向病院/兵庫県災害医療センター 鶴飼 卓

010-2 県道大社日御碕線崩落による孤立集落への支援

島根大学医学部附属病院 災害医療・危機管理センター/島根大学医学部附属病院 高度外傷センター 下条 芳秀

010-3 都内に通勤通学する都民の首都直下地震への備えの実態

東京医療保健大学立川看護学部看護学科4年生 清水 咲希

010-4 東京都内の帰宅困難者民間一時滞在施設の支援モデル事業の事例報告

東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 災害・クリティカルケア看護学分野 濱館 陽子

010-5 東京都内の帰宅困難者一時滞在施設の対策の実情と課題

東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 災害・クリティカルケア看護学分野 濱館 陽子

010-6 運営者目線を重視した東京都内一時滞在施設共通版運営マニュアル作成の試み

東京科学大学大学院保健衛生学研究科災害・クリティカルケア看護学分野 今津 陽子

010-7 病院内での災害対策本部立ち上げ経験と初動対応体制の整備

社会医療法人 愛仁会 尼崎だいもつ病院 松岡 雅一

■口演 11

1日目(3月6日) 10:45～11:30

第7会場(交流センター4階第7会議室)

指揮・調整・連携 1

座長 梶野健太郎(関西医科大学 救急医学講座)

千島佳也子(国立病院機構本部DMAT事務局)

011-1 DMATの長期継続派遣には要請・調整の簡素化が必要である

兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター 川瀬 鉄典

011-2 MCLSで構築したチームワークが活かされた能登半島地震でのDMAT活動の一例

松波総合病院 救急総合診療科 八十川雄図

011-3 DMAT活動拠点本部における現状分析と活動方針シートの活用状況について

独立行政法人国立病院機構本部 DMAT事務局 川野 聡美

011-4 ガントチャートを使用した大規模地震時のDMAT活動チーム管理の一例

愛知淑徳大学 救急救命学専攻/名古屋掖済会病院 丹羽 一晃

011-5 災害時における病院救急救命士の有用性

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 救急センター 山崎 藍

011-6 災害時における JMAT 活動体制のあり方
- 令和 6 年能登半島地震における経験から -

沖縄県医師会 / もとぶ野毛病院 出口 宝

■口演 12

1 日目 (3 月 6 日) 11:35 ~ 12:20

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

指揮・調整・連携 2

座長 竹内 一郎 (横浜市立大学 救急医学 / 高度救命救急センター)
丹羽 一晃 (愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻)

012-1 DMAT 本部における遠隔での活動指示
~ 令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練 横浜市・川崎市での検証 ~

独立行政法人国立病院機構本部 柴田 智子

012-2 原子力災害を含む複合災害時の愛媛県災害医療対策部の組織体制のあり方
~ 令和 6 年度愛媛県原子力防災訓練より ~

愛媛県立新居浜病院 渡辺真由美

012-3 山梨県富士東部エリアの透析施設間の連携について

富士吉田市立病院 川口誠一郎

012-4 災害時の救急車での患者搬送業務を可視化する試み

国士舘大学大学院救急システム研究科 田久 浩志

012-5 首都直下地震における東京西部の役割：政府訓練を終えて見えた問題点と課題

国立病院機構 災害医療センター 小山 智士

012-6 危機災害派遣者は本質的には要配慮就労者なのではないか？
- 職場職員の危機災害派遣者受容度とその関連要因に関する実態調査

公立法人福島県立医科大学病院 齋藤 由美

■口演 13

1 日目 (3 月 6 日) 14:20 ~ 15:10

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

精神・心のケア

座長 河嶌 譲 (DPAT事務局)
藤江 直輝 (大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 薬局)

013-1 令和 6 年能登半島地震 ひょうご DPAT (災害派遣精神医療チーム) 活動報告
- 認知症の対応事例を通して専門性を再考する -

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 杉田 顕好

013-2 令和 6 年能登半島地震へ三重県から派遣された DMAT 隊員におけるメンタルヘルスに
関するアンケート調査

三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター / 三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 岸和田昌之

013-3 令和 6 年能登半島地震における災害メンタルヘルスの特徴
— DPAT 診療記録を用いた過去地震との比較 —

岩手県立大学 社会福祉学部 / 筑波大学 医学医療系災害・地域精神医学 高木 善史

- 013-4 COVID-19 パンデミック下の医療機関におけるスタッフへの精神保健および心理社会的支援の実態調査②
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所心理社会的支援部門 中井 茉里
- 013-5 令和6年能登半島地震に対する三重大学医学部附属病院の災害支援活動従事者を対象としたメンタルヘルスに関するアンケート調査
学生 三重大学医学部医学科 坪田奈奈歩
- 013-6 災害派遣福祉チーム（DWAT）チーム員におけるメンタルヘルスリテラシーの実態に関する検討
岩手県立大学社会福祉学部 瀧井 美緒
- 013-7 能登半島地震における DPAT 活動に対する厚生労働省事務連絡発出の課題
獨協医科大学埼玉医療センター／厚生労働省委託事業 DPAT 事務局 五明佐也香

■口演 14

1日目（3月6日）15:20～16:10

第7会場（交流センター4階第7会議室）

能登半島地震～搬送～

座長 北村 伸哉（国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター）

- 014-1 能登半島地震における隣県での高齢者受け入れ態勢構築の難しさの課題
福井県立病院救命救急センター 東 裕之
- 014-2 令和6年能登半島地震 急性期「重症患者搬送」における特徴
前橋赤十字病院 高度救命救急センター 永山 純
- 014-3 航空自衛隊 CH-47 輸送ヘリコプターによる患者搬送の経験
県立広島病院 救急科 世良 俊樹
- 014-4 能登半島地震での病院避難ミッションの実際
ハートライフ病院救急総合診療部 三戸 正人
- 014-5 実際の SCU 活動を経験して～もう一つの「未知との遭遇」～
春日井市民病院救命救急センター 近藤 圭太
- 014-6 能登半島地震における半島最奥の病院支援と地域航空医療搬送の経験と課題
佐久医療センター 河合 俊輔
- 014-7 道路の寸断に対応できる救急車運行法と、貨物車輛、輸送ヘリコプターを用いて医療的管理の下に傷病者を搬送する方法について
日本大学 照井 資規

■口演 15

1 日目 (3 月 6 日) 16:20 ~ 17:05

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

能登半島地震～福祉対応～ 1

座長 花木 芳洋 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 災害対策センター)
立松 美穂 (独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター)

- 015-1 能登半島地震における福祉分野の連携支援活動
～珠洲市福祉施設支援会議における情報共有の必要性について～
DMAT 事務局 佐々木佳恵
- 015-2 能登半島地震における珠洲市の福祉避難所支援体制について
DMAT 事務局 佐々木佳恵
- 015-3 令和 6 年能登半島地震における災害派遣福祉チームのリーダー活動と困難性の一考察
—岡山県災害派遣福祉チームによる活動実践から—
神戸学院大学 伊藤 隆博
- 015-4 災害サイクルにおける福祉避難所のニーズ調査
～福祉避難所の職員へのインタビューを通して～
藍野大学 短期大学部 第二看護学科 佐藤 真
- 015-5 避難所における要援護者 (高齢者) 支援の重要性と課題
NPO 法人 TMAT 野口 幸洋
- 015-6 令和 6 年能登半島地震における福祉避難所での食支援
国立病院機構本部 DMAT 事務局/
共立女子大学大学院 修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上古原良実

■口演 16

1 日目 (3 月 6 日) 17:15 ~ 18:00

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

能登半島地震～福祉対応～ 2

座長 高橋 善明 (浜松医科大学医学部附属病院 救急部)

- 016-1 取り下げ
- 016-2 珠洲ふれあいの里 1.5 次福祉避難所 (SzCU) の立ち上げ報告
獨協医科大学病院 齋藤 達也
- 016-3 被災地の福祉施設の避難に関わる促進要素と阻害要素
慶應義塾大学病院 看護部 渡邊 久寛
- 016-4 高齢者福祉施設の広域避難に関する研究
—令和 6 年能登半島地震における愛知県内の福祉施設への避難とその後の生活の実態—
名古屋大学減災連携研究センター 木作 尚子

016-5 CH-47 大型ヘリコプターによる要介護高齢者の広域医療搬送の経験と、災害時航空搬送チームの提言
愛知県病院事業庁 水野 光規

016-6 能登半島高齢者施設からの地域避難搬送調整の経験
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 臨床検査・病理技術科 鈴木 雅大

■口演 17

2日目 (3月7日) 9:10 ~ 9:55

第6会場 (交流センター4階 第6会議室)

DMAT・災害拠点病院 1

座長 吉野 篤人 (浜松医科大学 地域医療学講座)
佐藤めぐみ (福島県立医科大学附属病院)

017-1 令和6年度大規模地震時医療活動訓練における川崎市 DMAT 活動拠点本部南部集場所としての活動報告
関東労災病院 矢尾 淳

017-2 「DMAT 活動指揮」の経験
多根総合病院救急科 柳 英雄

017-3 初めて DMAT 派遣を経験した病院における職員の認識評価と今後の課題
JA 三重厚生連 松阪中央総合病院 鈴木 紗知

017-4 令和6年度大規模地震時医療活動訓練で埼玉県 DMAT 調整本部長を経験して～ DMAT 活動拠点本部設置についての考察～
さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 八坂 剛一

017-5 当院看護師の局地災害発生時における DMAT 出動体制の構築
東京医科大学八王子医療センター 小河原沙織

017-6 能登半島地震におけるローカル DMAT としての活動報告
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 DMAT 和田 悠平

■口演 18

2日目 (3月7日) 10:05 ~ 10:50

第6会場 (交流センター4階 第6会議室)

地域・他組織連携 1

座長 高山 浩史 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
石井 史子 (NPO救命おかやま)

018-1 都道府県関係部署連携による他機関連携の円滑化について
国立病院機構本部 DMAT 事務局 黒川 正路

018-2 高速道路多重衝突事故対応で経験した他県ドクターヘリとの連携
埼玉医科大学総合医療センター 園田健一郎

018-3 令和6年度大規模地震時医療活動訓練にて神奈川県で実施した透析分野の訓練について
神奈川県透析危機対策協議会/関東労災病院 矢尾 淳

018-4 現場から病院集中搬送を行った局地災害訓練
前橋赤十字病院 集中治療科救急科 藤塚 健次

- 018-5 大規模地震時医療活動訓練における埼玉 DMAT の準備、訓練への取り組みについて
社会医療法人 さいたま市民医療センター 西澤 祐輝
- 018-6 千葉県における令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練での DMAS の参加報告
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 川上 翔平

■口演 19

2 日目 (3 月 7 日) 11:05 ~ 11:50

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

地域・他組織連携 2

座長 尾島 俊之 (浜松医科大学 健康社会医学講座)
橘 岳志 (大阪府済生会千里病院 診療支援部)

- 019-1 DSG-SIM と D24H を用いた保健医療福祉災害訓練環境の開発
芝浦工業大学 市川 学
- 019-2 令和 6 年度九州ブロック DHEAT 訓練への参加経験
長崎大学病院 災害医療支援室 木谷 貴嘉
- 019-3 千葉県における行政職員へ向けた EMIS 教育に係る取り組みについて
日本医科大学千葉北総病院 山内 延貴
- 019-4 大災害被災前、我々の日常にあるイベントから災害対応を学ぶ
医療社団法人 誠警会 新東京病院 安倍 晋也
- 019-5 静岡県における DMAT と行政職員の「顔の見える関係」を目指した訓練企画の工夫
浜松医科大学医学部附属病院 高橋 善明
- 019-6 大規模地震時医療活動訓練における、情報連携に重点を置いた高知市の保健医療調整本部と DMAT 活動拠点本部との協働の試み
高知赤十字病院 検査部 山崎 浩史

■口演 20

2 日目 (3 月 7 日) 14:20 ~ 15:10

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

福祉行政・社会福祉施設での活動・支援

座長 小倉 憲一 (富山県 厚生部)
原田奈穂子 (岡山大学 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域)

- 020-1 高齢者施設における災害時被災状況の集約とスクリーニングを実施した訓練の成果
～行政と医療の連携による早期対応の検証～
千葉県総合救急災害医療センター リハビリテーション科/
千葉県総合救急災害医療センター 災害医療局 伊崎田和歌
- 020-2 岐阜県の個別避難計画策定の実態と課題把握のための基礎自治体を対象とした質問紙調査
岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院 中嶋たか子
- 020-3 埼玉県内の個別避難計画策定状況に関する Web 調査
川口市立看護専門学校 田口多美子

- 020-4 介護老人福祉施設における日常生活援助の実践報告
—令和6年奥能登豪雨災害の亜急性期でのHuMAの取り組み—
NPO法人 災害人道医療支援会 (Humanitarian Medical Assistance: HuMA) /
杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻 齋藤 結香
- 020-5 入所系介護施設における災害支援受援負担の質的分析：令和6年能登半島地震と奥能
登豪雨被災施設の経験から
NPO法人 災害人道医療支援会 (Humanitarian Medical Assistance, HuMA) /尚和会 宝塚第一病院 安藝 美奈
- 020-6 福祉施設ヘルパー連絡会における研修の報告2：災害時の福祉施設の連携
無所属 米澤美千子
- 020-7 福祉施設ヘルパー連絡会における研修の報告1: DMATの役割の紹介と福祉施設におけ
る課題
名古屋市立大学大学院看護学研究科 澤田 美和

■口演 21

2日目 (3月7日) 15:20～16:10

第6会場 (交流センター4階第6会議室)

テロ対策・マスギャザリング

座長 佐々木秀章 (沖縄赤十字病院 救急集中治療部)
中島 成隆 (JA愛知厚生連 豊田厚生病院 救急科)

- 021-1 ア・テイル・オブ・トゥー・ガンショッツ
神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 有吉 孝一
- 021-2 松本サリン事件1994の分析研究—現在の災害医療の観点からみた当時の対応の課題
富山大学名誉教授/松本市有毒ガス事故(松本サリン事件)調査委員(当時)/
中部国際医療センター救急部門集中治療部長 奥寺 敬
- 021-3 備えよ常に！化学災害の教訓と除染室の役割
神戸市立医療センター中央市民病院 池田 廉
- 021-4 化学災害傷病者受入れ訓練を通じて明らかになった課題の検討
地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 災害対策室 小山 敬
- 021-5 熊本城マラソン2024における救護所活動報告
国立病院機構熊本医療センター救命救急センター 渋沢 崇行
- 021-6 遠隔医療ツールをイベント医療に流用する
～医療MaaS車両とリアルタイム遠隔医療システムを地方フルマラソン大会救護で活用する試み～
北見赤十字病院 谷口 治
- 021-7 につぼんど真ん中祭り救護活動におけるBYOD (Bring Your Own Device) での通信手
段の確立
愛知淑徳大学 救急救命学専攻/名古屋掖済会病院/
2005年日本国際博覧会記念災害救急医療研究財団 丹羽 一晃

■口演 22

2日目（3月7日）16:20～17:05

第6会場（交流センター4階第6会議室）

慢性疾患・在宅医療

座長 稲村 広敏（札幌医科大学附属病院 薬剤部）

名知 祥（岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院 救命救急センター）

- 022-1 能登半島地震での DMAT 活動を通して考える災害時の神経難病対応
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 救急科 三浦 敏靖
- 022-2 心不全パンデミック時代における自然災害への備え
済生会加須病院 木村 祐也
- 022-3 保健所における難病患者を対象とした防災・減災の取り組み
香川県中讃保健福祉事務所 健康福祉課 佐々木康介
- 022-4 令和6年能登半島地震における透析患者の避難所生活の実態と課題
北陸大学 高橋 純子
- 022-5 令和6年能登半島地震における在宅酸素療法患者支援の経験から
—災害時の在宅酸素患者支援を円滑に行うためにはどんな体制が必要か—
磐田市立総合病院 救急科 一谷 真一
- 022-6 令和6年度大規模地震時医療活動訓練から見た災害時の透析医療確保における広域
関東圏連携会議の課題
神奈川県透析危機対策協議会／関東労災病院 矢尾 淳

■口演 23

2日目（3月7日）17:20～18:10

第6会場（交流センター4階第6会議室）

実働機関

座長 徳野 慎一（神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科）

久保 芳宏（日本赤十字社福島県支部 事業推進課）

- 023-1 国立感染症研究所感染症危機管理研究センターのセキュリティ機関との連携・協力活
動について（2023年4月～2024年12月）
国立感染症研究所感染症危機管理研究センター 北山 明子
- 023-2 局地災害における DMAT 派遣要請の現状と課題
—三重県の消防機関における対応計画の調査
日本赤十字社 伊勢赤十字病院 宮崎伊佐夫
- 023-3 CLDMAT 養成研修（消防協力参加）10年のあゆみ
旭市消防本部 宮崎 喜久
- 023-4 災害フェーズに応じた
緊急消防援助隊救急小隊の持出し資器材の検討について
鳥取県西部広域行政管理組合消防局 川上 晃平

O23-5 災害発生時における消防ヘリコプターを活用した災害時要配慮者の救助方法確立に向けた取り組みについて
浜松市消防局 小笠原光峰

O23-6 艦艇搭載医療機器のデータベース構築が大規模災害時に有用であるか
～臨床工学技士の視点から
自衛隊横須賀病院 衛生資材課／診療部 岩田 英城

■口演 24

2日目 (3月7日) 9:10～9:55

第7会場 (交流センター4階 第7会議室)

医師会・JMAT

座長 岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)
久保 芳宏 (日本赤十字社福島県支部 事業推進課)

O24-1 市及び三師会が運営する医療救護所体制の整備に向けた支援
草加市立病院 災害対策室長 兼 泌尿器科部長 吉永 敦史

O24-2 能登半島地震2週間が経過したJMAT支部活動 (能登中部保健医療福祉調整本部)
地方独立行政法人那覇市立病院 黒崎 浩史

O24-3 一ヶ月にわたる当院の能登半島地震JMAT派遣における後方支援体制の構築
日本医科大学多摩永山病院 沼田 浩人

O24-4 能登半島地震における金沢以南調整支部における鳥取県JMAT第8班活動報告
鳥取大学医学部附属病院 看護部 恩部 陽弥

O24-5 能登半島地震への災害支援一大分県JMATとしての活動報告一
永富脳神経外科病院 石井 圭亮

O24-6 JMATによる支援の難しさ
～徳島JMAT隊員として能登半島地震に派遣された看護師の経験～
医療法人倚山会田岡病院 看護部 南條加奈子

■口演 25

2日目 (3月7日) 10:05～10:55

第7会場 (交流センター4階 第7会議室)

日赤

座長 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター救急科)
白子 隆志 (下伊那赤十字病院 外科)

O25-1 日赤コーディネーターチームの活用：能登半島地震の経験から
京都第一赤十字病院 竹上 徹郎

O25-2 日本赤十字社による救護の全体像と課題 - 令和6年能登半島地震 -
さいたま赤十字病院 高度救命救急センター／日本赤十字社救護員育成検討委員会 田口 茂正

O25-3 大阪赤十字病院の能登半島地震対応について
大阪赤十字病院 光森 健二

- 025-4 北海道における日赤災害医療コーディネーターチームの在り方
～能登半島地震救護活動を経験して
釧路赤十字病院 外科 金古 裕之
- 025-5 災害時の血液製剤供給に関する取り組みと課題
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所／日本赤十字社医療センター 国内・国際医療救援部 丸山 嘉一
- 025-6 災害時における輸血用血液製剤の受発注について
大阪府立中河内救命救急センター 吉田 元治
- 025-7 日赤愛知県支部地域防災訓練における愛知 DMAT との連携
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院／日本赤十字社愛知県支部 稲田 眞治

■口演 26

2日目 (3月7日) 11:05～11:50

第7会場 (交流センター4階 第7会議室)

NGO・NPO・関連団体

座長 田口 茂正 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター)
七戸 康夫 (国立病院機構北海道医療センター 統括診療部)

- 026-1 台湾・フィリピンの災害医療チームとの訓練および実災害における協働の成果と展望
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 北川 光希
- 026-2 能登半島地震・豪雨支援を例とした災害医療における NGO の強みとフェーズに応じた支援内容の変遷について
特定非営利活動法人ジャパンハート 高橋茉莉子
- 026-3 NGO・NPO の日本での災害医療活動における課題
国境なき医師団日本 ベヒシュタイン紗良
- 026-4 災害における多様で継続が求められるニーズにこたえる医療系ボランティア集団としての NPO
NPO われらはふるさと医療応援団 平出 敦
- 026-5 NGO が運用する船舶の能登半島地震での活動と災害医療支援船に期待される今後の展望
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 杉本 陸
- 026-6 災害対応プラットフォームの構築における NGO の役割
特定非営利活動法人アムダ 小川 直美

■口演 27

2日目 (3月7日) 14:20～15:10

第7会場 (交流センター4階 第7会議室)

新しい取り組み

座長 奥山 学 (秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
鈴木 健介 (日本体育大学大学院 救急災害医療学専攻)

- 027-1 南海トラフ地震被害想定モバイル空間統計を用いた再分析
社会医療法人 生長会 府中病院 山本 啓雅

- O27-2 災害時に得られる映像データは匿名加工することで個人情報に配慮したデータとして利用できる
北里大学医学部救命救急医学 服部 潤
- O27-3 クロスリアリティーでメタバースに再現した災害現場による遠隔医療支援システムの構築
北海道大学病院 先端医療技術教育研究開発センター／北海道大学大学院 医学研究院 消化器外科学教室 II 村上 壮一
- O27-4 モバイルスマート治療室と 5G を利用した遠隔医療支援の実装とその効果に関する研究
東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野 小野寺美琴
- O27-5 聴覚障害者の災害・緊急時における情報バリア改善に向けた開発
岡山大学病院 聴覚支援センター 片岡 祐子
- O27-6 災害派遣チームにおける民生用ドローンの活用
東北労災病院 赤田 昌紀
- O27-7 水害直後の被災エリアの気象変化と健康への影響に関する考察
一般財団法人河川情報センター／兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科／福井大学産学連携本部 田中 耕司

■口演 28

2 日目 (3 月 7 日) 15:20 ~ 16:10

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

BCP・マニュアル全般 1

座長 堀内 義仁 (国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科)
涌嶋伴之助 (鳥取大学医学部附属病院 薬剤部)

- O28-1 事業継続計画 (BCP) 改訂のための A 病院の職員の参集に関する定量調査
～災害時の職員の参集人数の推定方法について～
岐阜市民病院 早見 一輝
- O28-2 基幹災害拠点病院における災害時の出勤に関する現状調査
埼玉医科大学総合医療センター 増田由美子
- O28-3 能登半島地震発災時の当院救急外来部門スタッフの参集状況
福井大学医学部救急医学 森田 浩史
- O28-4 発災日、果たして参集できるのか：BCP を作成する前に
公立能登総合病院 圓角 文英
- O28-5 大規模災害時参集調査の結果から考える直近大学附属病院への支援制度
東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター 岩崎 恵
- O28-6 関連グループ内の介護施設・老人ホームへのアンケート調査
～南海トラフ地震に備えて DMAT 指定医療機関としてできることは～
もみのき病院／高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 水口紀代美
- O28-7 新興感染症対応 BCP 作成のための演習の開催に際しての課題
福山市民病院, 福山・府中地域保健対策協議会 小山 祐介

■口演 29

2日目(3月7日) 16:20～17:10

第7会場(交流センター4階第7会議室)

BCP・マニュアル全般2

座長 花木 芳洋(日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 災害対策センター)
増田由美子(埼玉医科大学総合医療センター 看護部)

O29-1 新病院におけるDMAT受援体制MCPの検証

東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター 大山 陸人

O29-2 ホスピタルBCPを発動し改定に役立った3つの災害事案

大阪市立総合医療センター救命救急部 福家 顕宏

O29-3 初療室における災害時の初動体制の整備 ～多職種協働での取り組み報告～

公益社団法人日本海員救済会 名古屋掖済会病院 初療室 休石 直美

O29-4 DMATの組織及び活動等について院内規定に制定する効果について

浜松医科大学医学部附属病院 医事課 加藤 真嗣

O29-5 実災害によって露呈した当院におけるリスク管理・危機管理の現状とその課題

富山大学 医学部 救急医学講座/富山大学附属病院 災害・救命センター 土井 智章

O29-6 栄養管理室におけるBCP作成から災害訓練までの取り組みと今後の課題

岐阜市民病院 五島 広恵

O29-7 災害医療センターでのBCP刷新について

災害医療センター救命救急センター 高田 浩明

■口演 30

2日目(3月7日) 17:20～18:10

第7会場(交流センター4階第7会議室)

BCP・マニュアル全般3

座長 中島 康(東京都立病院機構 法人本部)
高桑 大介(日本赤十字看護大学 附属災害救護研究所)

O30-1 都道府県への災害時における医療コンテナ活用「ガイドライン」について

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

O30-2 【日本災害医学会主導研究】医療機関の事業継続計画(BCP)における職員の健康確保に関する研究

産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター 五十嵐 侑

O30-3 製品アーキテクチャ概念を取り入れたBCP策定・見直し手法の提案

国立保健医療科学院 小森賢一郎

O30-4 起こり得る危機事態の予測に基づく病院BCP開発のためのアクションリサーチ -介入のアウトカム評価

長岡赤十字看護専門学校 平野美樹子

- 030-5 病院危機事態を予測する Dating Back 法による組織横断調査の効果
- 人的資源管理の視点から
長岡赤十字看護専門学校 平野美樹子
- 030-6 水害リスクの自分事化と「共助」を目的とした医療・土木・建築による
推進プログラムの検討
～人吉球磨地域における医療連携の取組み・その1～
清水建設 設計本部 諸星 玲子
- 030-7 雨量・河川水位の観測記録を用いた水害タイムラインにおける活動実施タイミングの
検討～人吉球磨地域における医療連携の取組み・その2～
清水建設株式会社技術研究所 長谷川夏来

■口演 31

3日目 (3月8日) 8:30～9:15

第5会場 (交流センター3階第4会議室)

小児周産期

座長 伊藤 友弥 (あいち小児保健医療総合センター 小児救命救急センター)
千島佳也子 (国立病院機構本部DMAT事務局)

- 031-1 被災地における産科支援～能登半島地震の支援活動からの一考察～
広島大学大学院/東京科学大学病院/災害人道医療支援会 (HuMA) 高村 ゆ希
- 031-2 大規模災害時の要配慮者への支援：災害急性期における妊婦の緊急域外搬送の必要性
についての提起
京都府立医科大学/京都産婦人科救急診療研究会/日本母体救命システム普及協議会 山畑 佳篤
- 031-3 災害時小児周産期リエゾン、岐阜県での独自研修から分かったこと
岐阜県総合医療センター 寺澤 大祐
- 031-4 和歌山県における災害時の小児周産期医療の体制の構築
和歌山県立医科大学附属病院 吉村 康平
- 031-5 多職種連携による乳幼児妊産婦避難所の運営
～令和6年能登半島地震における実践報告～
国立病院機構本部 DMAT 事務局/
共立女子大学大学院 修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上吉原良実
- 031-6 初産婦の災害に関する情報源と避難行動への備えの実態および災害自己効力感との関連
東京医療保健大学立川看護学部看護学科 望月 秀真

■口演 32

3日目 (3月8日) 9:25～10:10

第5会場 (交流センター3階第4会議室)

病院機能維持

座長 山内 聡 (仙台市立病院 救急科)
中込 悠 (新潟大学 医学部災害医療教育センター)

- 032-1 能登半島地震で水不足に陥った透析病院に対する病院支援で見えた課題
～被災病院の意思決定支援～
長岡赤十字病院 救命救急センター 宮島 衛

- 032-2 一時的過電流により電源喪失となり、非常用電源が作動しなかったことによる大規模停電とその対策
和歌山県立医科大学 宮田 亜季
- 032-3 電気設備故障による断水対応の経験
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 古田 宏
- 032-4 令和6年能登半島地震での上水道復旧状況マップに基づく災害拠点病院アセスメントロールアップの構築
東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター 平山 修久
- 032-5 ライフライン支援において重要な施設基本情報のEMIS入力向上への取り組み
沖縄県立中部病院 宮平 亮
- 032-6 病院機能維持に関する一考察（主に機能維持に必要な人材と法令）
法務省 施設等機関（沖縄刑務所） 山田 光郎

■口演 33

3日目（3月8日）10:20～11:05

第5会場（交流センター3階第4会議室）

学生教育

座長 生越 智文（鳥取大学医学部附属病院 救急科）
大山 太（東海大学 医学部看護学科）

- 033-1 地域×多職種連携教育 医系学生災害医療ロジスティックス演習第2報
長崎大学病院災害医療支援室 山下 和範
- 033-2 卒前教育としての災害ロジスティックスにおける多職種連携教育の効果
日本体育大学大学院保健医療学研究科／厚生労働省 DMAT 事務局 増留 流輝
- 033-3 令和6年度奥能登豪雨災害における日体大救急医療チームの活動報告
～石川県健康福祉部からの災害ボランティア派遣要請を受けて～
日本体育大学大学院保健医療学科 相坂 颯汰
- 033-4 島根大学医学部における学生防災教育の導入
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 木谷 昭彦
- 033-5 学部横断的かつ段階的プログラムを活用した災害医学教育の実践
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博
- 033-6 言語聴覚療法学専攻学生に対する災害リハビリテーション学の授業構成の開発
山鹿温泉リハビリテーション病院／熊本県災害リハビリテーション推進協議会（熊本 JRAT） 佐藤 亮

■口演 34

3日目(3月8日) 11:10～12:00

第5会場(交流センター3階第4会議室)

環境対策

座長 寺澤ゆかり(京都第一赤十字病院 医事課)
三浦 邦久(医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 救急科)

- 034-1 高齢者介護施設における熱中症予防対策の有効性：地域中核病院への搬送実績からの考察
関西労災病院 救命救急科 高松 純平
- 034-2 冬期災害時の避難場所に関する青森県住民の意識調査報告
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 吉川 靖之
- 034-3 酷暑期における避難所の熱中症の危険性について
Jパックス株式会社 水谷 嘉浩
- 034-4 労作性熱中症対策のユーザビリティ調査ー現場の共感から得られた課題ー
福井工業大学 竹田 周平
- 034-5 酷暑期における避難所の暑熱環境調査
長野赤十字病院/日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 星 研一
- 034-6 東日本大震災時の避難所アセスメントデータを用いた避難所環境と避難者の健康状態との関連についての観察研究
東北大学病院 石井 正
- 034-7 旭川市の避難所の問題と冬季防災訓練への取り組み
旭川医科大学 救急医学講座 岡田 基

■口演 35

3日目(3月8日) 13:10～13:55

第5会場(交流センター3階第4会議室)

DMAT・災害拠点病院 2

座長 水野 浩利(札幌医科大学 救急医学講座)
恩部 陽弥(鳥取大学医学部附属病院 看護部)

- 035-1 DMAT活動における病院支援の現状分析と活動方針策定についての評価ーVer2.ー
国立病院機構本部 DMAT事務局 黒田 愛実
- 035-2 能登半島地震出動隊として感じた問題点
～バックグラウンド選択と指揮系統～
松波総合病院 八十川雄図
- 035-3 三重 DMAT の派遣に関わる課題～能登半島地震派遣後アンケート調査から～
国立病院機構 三重中央医療センター 信岡 祐
- 035-4 能登半島地震に対し、病院間連携や非 DMAT 隊員を加えて編成し対応した三重 DMAT 派遣
国立病院機構 三重中央医療センター 信岡 祐

- 035-5 東京都医療対策拠点における東京 DMAT の活動と課題
災害医療センター 金津 巧綺
- 035-6 DMAT 後方支援活動は派遣隊の負担軽減と病院の災害対応力強化に寄与する
—令和6年能登半島地震対応より—
日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 萩原 鈴香

■口演 36

3日目 (3月8日) 14:05 ~ 14:50

第5会場 (交流センター3階第4会議室)

国際支援 1

座長 中森 知毅 (労働者健康安全機構 横浜労災病院 救命救急センター)
甲斐聡一郎 (兵庫県災害医療センター)

- 036-1 DMAT 事務局によるモルドバ DMAT の設立への貢献と研修プログラムの成果
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 大場 次郎
- 036-2 DMAT 事務局の国際業務と今後への期待
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹
- 036-3 国際会議を通じた災害医療派遣チームの連携強化と今後の展望
米国 NDMS サミットと WHO Global Meeting からの経験
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹
- 036-4 米国 ASPR との机上演習を通じた日米災害対応協力体制の強化
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹
- 036-5 台湾 DMAT の大規模地震時医療活動訓練への参加
今後の国際医療チーム受援活動への期待
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹
- 036-6 2024 年台湾花蓮地震における避難所運営とボランティアの活動
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科/日本学術振興会特別研究員 佐藤 寛華

■口演 37

3日目 (3月8日) 15:00 ~ 15:35

第5会場 (交流センター3階第4会議室)

国際支援 2

座長 杉田 学 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)
高田 洋介 (日本赤十字広島看護大学)

- 037-1 レバノンにおける医療支援事業の事業管理要員として安全管理に対する取り組みへの
課題
大阪赤十字病院 三浦 知紘
- 037-2 国際緊急援助隊医療チーム検査部門の5年間における成果と次世代への課題
～常設班診療1班班員として～
岡崎市保健所生活衛生課 佐藤 千歳

- 037-3 日本国際緊急援助隊（JDR）医療チームによる国際災害対応および人材育成における戦略的取り組み
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局／ JICA 国際緊急援助隊（JDR）医療チーム 大場 次郎
- 037-4 ガザ地区での武力衝突により一変した環境において求められる看護師の役割と能力
大阪赤十字病院 川瀬佐知子
- 037-5 紛争地で、日本人若手救急医に何ができるのか
～パレスチナでの外傷トレーニング活動を振り返る～
国境なき医師団 渡邊紗耶香

■口演 38

3 日目（3 月 8 日） 15:45 ～ 16:20

第 5 会場（交流センター 3 階 第 4 会議室）

国際支援 3

座長 中田 正明（兵庫県災害医療センター 放射線課）
石原 諭（兵庫県災害医療センター）

- 038-1 国際保健規則に基づく国家連絡窓口の体制と機能：日本、米国、英国の比較分析
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 竹田 飛鳥
- 038-2 取り下げ
- 038-3 シエラレオネ共和国における医療安全を取り巻く現状
大阪赤十字病院国際医療救援部 池田 載子
- 038-4 Emergency Hospital 展開訓練を通して見えたロジスティクスの役割と課題
日本赤十字社 片山 珠
- 038-5 グリーンレスポンスへの取り組み ー環境に配慮した人道支援ー
日本赤十字看護大学付属災害救護所 中出 雅治

■口演 39

3 日目（3 月 8 日） 8:30 ～ 9:20

第 6 会場（交流センター 4 階 第 6 会議室）

病院・施設内教育

座長 笠岡 俊志（熊本大学病院 災害医療教育研究センター）
渡邊 暁洋（兵庫医科大学 危機管理医学講座）

- 039-1 災害リンクナースが自部署で災害対策訓練を実施するために
～机上訓練パッケージの考案～
慶應義塾大学病院 看護部 渡邊 久寛
- 039-2 消化器外科医を対象とした大規模災害時の手術中断の判断に関する意識調査
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学 藏田 能裕
- 039-3 指定外医療機関で勤務する DMAT 隊員が果たす役割（受援側の立場として）
一般財団法人 永頼会 松山市民病院 小田原一哉
- 039-4 A 病院における病棟業務継続訓練の有用性についての検証
富山市立富山市民病院 山路 修平

- 039-5 原子力発電所近隣医療機関の職員において、原子力災害時の活動への積極性を向上させるには
市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎
- 039-6 南海トラフ地震臨時情報「注意」の経験と「警戒」への訓練
～高知県災害医療コーディネーター・病院災害対策委員長として～
社会医療法人近森会 近森病院 井原 則之
- 039-7 「No more BCP！」～「災害対応計画」への表現変更の提言～
国際医療福祉大学熱海病院 堀内 義仁

■口演 40

3日目 (3月8日) 9:25～10:15

第6会場 (交流センター4階第6会議室)

避難所 1

座長 金澤 豊 (民間救急かすたねっと)
野中 良恵 (厚生労働省 大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室)

- 040-1 避難所の実践検証から導く被災者を病ませない方策
日本赤十字北海道看護大学 根本 昌宏
- 040-2 取り下げ
- 040-3 高齢者の災害準備とスマートフォン活用に関する研究：A地域における大学生の地域連携による支援活動
神戸女子大学 看護学部 岸野真由美
- 040-4 千葉県54市町村の災害備蓄と情報公開に関する調査
国際医療福祉大学大学院災害医療分野/松本尚事務所 椎名 麗
- 040-5 避難所運営ゲームを用いた災害時母子救護研修の取り組み
～超急性期の減災から亜急性期の日常を意識した避難所運営～
北海道大学 松宮 寛子
- 040-6 高校生と共同した避難所運営ゲームの試み
上川北部消防事務組合 大滝 達也
- 040-7 災害関連死を防ぐために必要な避難所支援のあり方
信州大学医学部 救急集中治療医学教室 問田 千晶

■口演 41

3日目 (3月8日) 10:25～11:00

第6会場 (交流センター4階第6会議室)

避難所 2

座長 神原 淳一 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
富永 綾 (岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座)

- 041-1 大規模地震時医療活動訓練における埼玉県での避難所訓練報告
埼玉医科大学病院 石倉 力

- 041-2 「避難者を幸せにする避難所」には、医療的ケア児・者を盛り込んだ防災計画、マニュアル整備が不可欠である
鳥取大学医学部 脳神経小児科 中村 裕子
- 041-3 避難所における多職種支援チームの連携についての検証
医療法人鉄蕉会亀田総合病院 臨床検査室 太田麻衣子
- 041-4 救急タグを用いた避難所の受付時スクリーニング 第2報
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 酒井 智彦
- 041-5 学校避難所での感染対策に関する教室およびフロア構造への一考
日本医科大学付属病院 放射線技術部門 平井 国雄

■口演 42

3日目 (3月8日) 11:10～11:45

第6会場 (交流センター4階 第6会議室)

病院船・医療コンテナ

座長 吉野 篤人 (浜松医科大学 地域医療学講座)
渡邊 栄三 (愛知医科大学医学部 救急集中治療医学講座)

- 042-1 能登半島地震における医療コンテナの運用そして今後の災害における医療コンテナのあり方について
自衛隊札幌病院救急科 永田 高志
- 042-2 災害時における都道府県のための医療コンテナの標準化について
—能登半島地震の経験を通じて—
神戸学院大学 前林 清和
- 042-3 能登半島地震における発熱外来の運用
東京慈恵会医科大学附属病院救急部 中谷 宣章
- 042-4 能登半島地震における医療コンテナ運用における情報共有化の課題
兵庫県立大学 前林明日香
- 042-5 大規模災害時における民間企業の果す役割と今後の希望
～産官学連携・令和6年度大規模地震時医療活動訓練 in 館山の経験から～
スカパーJ S A T株式会社 宇宙事業部門 宇宙・衛星事業本部 法人事業部 瀬尾 淳

■口演 43

3日目 (3月8日) 13:10～14:00

第6会場 (交流センター4階 第6会議室)

成人教育

座長 山畑 佳篤 (京都府立医科大学 救急・災害医療システム学)
酒井 明子 (福井大学)

- 043-1 被ばく線量の判断力を養う教育は、放射線災害に対応する医療者の養成に重要である。
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学／量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 被ばく医療部／
千葉大学災害治療学研究所 栗田 健郎

- 043-2 東日本大震災被災地を会場とした派遣型実践研修、日本災害医療ロジスティクス研修の意義
岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座 富永 綾
- 043-3 災害に強い部署を目指した看護師育成への取り組み
～チーム発足から得られた成果と課題～
兵庫医科大学病院 一般内科・外科病棟 井上 幹也
- 043-4 日本におけるエマルゴ研修の現状：Emergo Train System ver.4 の導入について
富山大学／福島県立医科大学／中部国際医療センター 奥寺 敬
- 043-5 海洋災害を包括する海洋医療初期対応研修
(ICMM:Immediate Care of Marine Medicine) の開発と現状
富山大学名誉教授／中部国際医療センター救急部門集中治療部長／ICMM 研究開発 WG 奥寺 敬
- 043-6 帰宅困難者一時滞在施設の開設・運営を学び交流するメタバースの構築
東京科学大学 佐々木吉子
- 043-7 国際緊急援助隊医療チームにおける人材育成
—研修を通して何を伝えるか、その成果と課題—
埼玉医科大学総合医療センター／JICA 国際緊急援助隊医療チーム 増田由美子

■口演 44

3 日目 (3 月 8 日) 14:10 ～ 14:55

第 6 会場 (交流センター 4 階 第 6 会議室)

自然災害 2

座長 川瀬 鉄典 (兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター)
山崎 達枝 (四天王寺大学 看護学科)

- 044-1 伊勢湾台風における公衆衛生・行政の対応
浜松医科大学健康社会医学講座 尾島 俊之
- 044-2 令和 6 年 9 月能登半島豪雨災害活動報告
NPO 法人 TMAT 野口 幸洋
- 044-3 水害を経験した看護管理者の意思決定に与えた要因の検討
秋田大学医学部附属病院 山平 大介
- 044-4 近隣の土砂災害での現場対応について ～死亡傷病者への対応想定～
松山赤十字病院 救急部 森實 岳史
- 044-5 近隣の土砂災害での現場対応について ～医療面以外での活動について～
松山赤十字病院 救急部 森實 岳史
- 044-6 2024 年蒲郡市土砂災害を経て見えた救急隊運用の課題
蒲郡市消防本部 柴田 大輝

■口演 45

3日目(3月8日) 15:05～15:50

第6会場(交流センター4階第6会議室)

自然災害3

座長 林 靖之(大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)
山内 延貴(日本医科大学千葉北総病院 災害対策室)

- 045-1 医療機関における災害対策としてのSTARLINKインターネットの活用
医療法人澄心会 豊橋ハートセンター 山本 伸一
- 045-2 植込型補助人工心臓管理施設としての災害対策への取り組み
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重大学医学部附属病院 臨床工学部 後藤 健宏
- 045-3 院内初の災害対策本部設置経験
～病院全館停電のアクシデントがその後にもたらした影響～
彩の国東大宮メディカルセンター リハビリテーション科 山田 千丸
- 045-4 人工心肺施行中発生した停電に対する調査
医療法人 三重ハートセンター 泉 喬太
- 045-5 局地災害に対応した当院の成果についての報告
蒲郡市民病院 糟谷 洋行
- 045-6 局地災害における「医療情報ネット」を用いた一斉通報システムの試み
信州大学附属病院 高山 浩史

■口演 46

3日目(3月8日) 11:10～11:55

第7会場(交流センター4階第7会議室)

能登半島地震～保健医療福祉調整本部～

座長 島津 和久(兵庫県災害医療センター 救急部)
吉田 修(市立大津市民病院 救急外来ER)

- 046-1 日赤 CoT として行った保健医療福祉調整本部活動での撤退調整
松山赤十字病院 救急部 森實 岳史
- 046-2 令和6年能登半島地震において基礎自治体単位で設置された穴水町保健医療福祉調整本部での活動の報告
新潟大学 未来社会共創ラボ 伊藤 宏保
- 046-3 市役所における保健医療福祉調整本部立ち上げの課題
松阪中央総合病院 谷口健太郎
- 046-4 能登半島地震でのロジスティクスチームとしての活動報告並びに多機関連携の課題
社会医療法人 陽明会 小波瀬病院 安部 亮
- 046-5 令和6年度能登半島地震における日赤災害医療コーディネーターとしての石川県庁と珠洲市でのそれぞれの活動
高知赤十字病院 救命救急センター 原 真也

046-6 令和6年能登半島地震における金沢以南保健医療福祉調整本部での愛知県 DHEAT 第2
班活動報告

名古屋市保健所 東保健センター 野呂 優樹

■口演 47

3日目 (3月8日) 13:10～13:55

第7会場 (交流センター4階 第7会議室)

能登半島地震～避難所～

座長 吉田 隆浩 (岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター)
向井 慎治 (三重県厚生連 松阪中央総合病院 CE部)

047-1 能登半島地震における大規模避難所にて業務調整員として常駐医療支援の初動活動を
経験して

組合立 諏訪中央病院 臨床工学科 / AMDA 緊急援助ネットワーク 松尾 昌

047-2 令和6年能登半島地震における避難所環境整備の取り組み

国立病院機構本部 DMAT 事務局 /
共立女子大学大学院 修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上吉原良実

047-3 能登半島地震における避難所の環境及び安全管理についての考察

日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第二病院 泌尿器科 山田 浩史

047-4 令和6年能登半島地震 D24H による避難所管理の経験

帯広厚生病院 加藤 航平

047-5 避難所支援の難しさと支援者支援の重要性

災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 (DSAM) /
公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会 災害対策委員会 仲嶋 隆史

047-6 “Be healthy, Be happy.” 医療班が下支えした避難所生活

日本医科大学救急医学教室 / 日本医科大学附属病院高度救命救急センター /
山梨県立中央病院高度救命救急センター 上村 浩貴

■口演 48

3日目 (3月8日) 14:05～14:50

第7会場 (交流センター4階 第7会議室)

地域・他組織連携 3

座長 松岡 良太 (まつおか内科循環器クリニック / 島田市立総合医療センター 救急科)
安部 史生 (神戸赤十字病院 検査部)

048-1 防災意識尺度の多言語化に関する取り組み

名古屋市立大学 看護学研究科 秋山 直美

048-2 災害時の搬送支援における緊急走行講習会の検討

日本病院救急救命士ネットワーク / 東京曳舟病院 長橋 和希

048-3 地域包括支援センター主催のケアマネのための災害講座
～顔の見える関係性作りから地域連携へ繋げる取り組み～

聖マリアンナ医科大学病院 神保 大士

048-4 デジタル防災教育ツール「デジ防マップ」の開発と防災教育の実践報告

浜松医科大学 近藤 誠人

048-5 当院における局地災害訓練時のトリアージタグ記載に関する現状と課題
埼玉医科大学国際医療センター 救命 ICU 守屋 信昭

048-6 新興感染症等訓練を通して地域で災害医療へ備えるための挑戦
名古屋掖済会病院 感染対策室 二神 諒子

■口演 49

3 日目 (3 月 8 日) 15:00 ~ 15:35

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

能登半島地震～薬事～

座長 嶋村 文彦 (千葉県総合救急災害医療センター)
萬年 琢也 (山形県立こども医療療育センター 診療部)

049-1 令和 6 年能登半島地震における災害薬事コーディネーター業務
福岡大学薬学部救急・災害医療薬学研究室/日本薬剤師会災害対策委員会 江川 孝

049-2 災害支援薬剤師による能登半島地震での薬事支援
熊本県薬剤師会/済生会熊本病院 西 健太郎

049-3 薬剤師として能登半島地震 (薬剤師会)、熊本地震 (J-MAT) に出動して
独立行政法人地域医療機能推進機構宮崎江南病院 谷口 公章

049-4 薬剤師としての職能が DMAT 派遣において有用であった経験
多根総合病院 薬剤部 岩井 裕香

■口演 50

3 日目 (3 月 8 日) 15:45 ~ 16:20

第 7 会場 (交流センター 4 階 第 7 会議室)

能登半島地震～看護～

座長 京極多歌子 (社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院 キャリア支援室)
黒住 健人 (虎の門病院外傷センター)

050-1 能登半島地震における済生会が行った済生会金沢病院への看護師派遣等の被災地支援活動に関する報告
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 見浦 継一

050-2 DMAT 看護師の介入が被災病院の機能維持に寄与する
済生会滋賀県病院 勝又 広太

050-3 Medical Check Center における DMAT 看護師の活動報告
— 能登半島への災害派遣を経験して —
神戸市立医療センター中央市民病院 上山瑠美子

050-4 能登半島地震 避難所における災害支援ナースの活動報告
～ A 病院看護師の継続派遣による支援体制の構築～
神戸市立医療センター中央市民病院 福永千絵美

050-5 令和 6 年能登半島地震における DPAT 看護師の本部支援の課題
大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 荒尾 正人

■ポスター 1

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震～保健医療福祉調整本部～

座長 佐藤 友子 (済生会熊本病院 救急総合診療センター 救急科)
齋藤 大蔵 (国土館大学大学院 救急システム研究科)

- P1-1 能登半島地震における珠洲市総合病院支援 DMAT の活動総括および課題
国際医療福祉大学塩谷病院 一瀬 雅典
- P1-2 能登半島地震における現地保健医療福祉調整本部での VTE 予防啓発活動
医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院/日本静脈学会 災害対策委員会 細川 浩
- P1-3 能登半島沖地震における救護班活動時の病院災害対策本部運営の実際と課題
武蔵野赤十字病院 多治見允信
- P1-4 令和 6 年能登半島地震における災害医療センターの活動
国立病院機構 災害医療センター 小崎 良平
- P1-5 能登半島地震における DMAT ロジスティックチーム本部支援活動について
京都第一赤十字病院 寺澤ゆかり
- P1-6 Google フォームを使用した医療保険福祉調整本部の受付を検討する
医療法人社団成和会 西新井病院 須永 吉徳

■ポスター 2

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震～ DMAT 活動報告～ 1

座長 問田 千晶 (信州大学医学部 救急集中治療医学)
家永慎一郎 (川崎医科大学総合医療センター 救急科)

- P2-1 能登半島地 DMAT ロジスティックチーム派遣での課題
千葉県がんセンター 小原 裕樹
- P2-2 撤収は出動より難しい！～ DMAT 活動撤収における心構えと課題～
国立病院機構高崎総合医療センター 町田 浩志
- P2-3 災害派遣準備における他チームとの情報共有の重要性について
横浜市立市民病院 中山 智
- P2-4 継続的な活動が必要とされる状況における DMAT 管理について
～ 2024 年能登半島地震での活動を経験して～
県立広島病院 小山 和宏
- P2-5 改良型現状分析・活動方針シートの使用経験
金沢市立病院 中央診療部 放射線室 柏屋総一郎
- P2-6 日本体育大学における令和 6 年能登半島地震の後方支援活動報告
日本体育大学大学院保健医療学研究科 糟谷 一心

P2-7 医療ソーシャルワーカーの業務調整員が経験した能登半島地震 DMAT 派遣の特徴
橋本市民病院 上中居幹太

P2-8 DMAT 業務調整員、病院救命士としての経験を活かした能登半島地震における JMAT 活動
社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 森元 一晟

■ポスター 3

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震 ~ DMAT 活動報告 ~ 2

座長 福田 靖 (徳島赤十字病院 救急科)
上杉 泰隆 (国立病院機構本部DMAT事務局)

P3-1 能登半島地震への派遣を通して明らかとなった DMAT チーム編成調整と隊員増員の必要性
名古屋掖済会病院救急科 蜂矢 康二

P3-2 令和 6 年能登半島地震 市立輪島病院への DMAT 第一陣派遣の経験
岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院 名知 祥

P3-3 能登半島地震での八戸赤十字病院の活動と課題
八戸赤十字病院 小笠原英治

P3-4 令和 6 年能登半島地震における、市内 2 病院の DMAT 交互派遣による隊次間の連携と
オフサイト支援の有効性の報告
聖隷三方原病院 原田 薫

P3-5 DMAT 隊の受援と協働を考える - 令和 6 年能登半島地震の支援経験から -
労働者健康安全機構 東京労災病院 加藤 宏一

P3-6 当院の能登半島地震における DMAT 後方支援活動について
東京医科大学病院 救命救急センター 吉澤 直也

P3-7 能登半島地震での DMAT 参加での経験と感じたこと
公立陶生病院 救命救急センター 市原 利彦

P3-8 能登半島地震における DMAT 派遣と活動報告
独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター DMAT 大野 開成

■ポスター 4

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震 ~ DMAT 活動報告 ~ 3

座長 森田 正則 (堺市立総合医療センター 救命救急センター)
増野 智彦 (日本体育大学 保健医療学部救急医療学科)

P4-1 能登半島地震における亜急性期から慢性期の DMAT 活動報告
岩手県立胆沢病院 看護科 小嶋 麻衣

P4-2 能登半島地震における熊本大学病院 DMAT の支援活動
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 笠岡 俊志

- P4-3 令和6年能登半島地震における順天堂大学医学部附属静岡病院のDMAT活動報告
順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科／順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科 大坂 裕通
- P4-4 能登半島地震における当院DMATの活動報告
川崎医科大学総合医療センター 赤木 晃久
- P4-5 能登半島地震に対する当院からの派遣
山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明
- P4-6 能登半島地震で得られた教訓と当院の災害対策における課題
三重北医療センターいなべ総合病院 辻内 友恵
- P4-7 2024年能登半島地震における北海道大学病院DMATの活動報告と課題
北海道大学病院救命救急ナースセンター 佐藤 隆太
- P4-8 石川県能登半島地震における市立函館病院DMATの活動
市立函館病院 救命救急センター 武山 佳洋

■ポスター5

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

能登半島地震～JMAT・AMAT・TMAT～

座長 庄古 知久(東京女子医科大学附属足立医療センター 救急医療科)
長島真理子(深谷赤十字病院 救急診療科)

- P5-1 災害支援チーム派遣先の調整にかかる本部業務についての検証
日本医科大学多摩永山病院／日本医科大学救急医学教室 久野 将宗
- P5-2 令和6年能登半島地震におけるJMAT沖縄第5陣の活動を振り返って
～活動から学んだこと～
社会医療法人敬愛会 中頭病院 仲宗根 智
- P5-3 能登半島地震での当院JMAT派遣の報告一直面した倫理的課題一
北九州市立八幡病院 野田 知宏
- P5-4 輪島市門前におけるJMAT活動への当院DMAT隊員の参加
東北医科薬科大学 医学部 佐藤 大
- P5-5 災害医療コーディネーションサポートチーム(第1陣)報告
-看護師の視点から今後の期待と展望-
医療法人 南労会 紀和病院 林 ミユキ
- P5-6 TMATの活動から能登半島地震を振り返る
湘南鎌倉総合病院 村田 宇謙
- P5-7 AMATとして経験した災害時病院支援における3つの困難
埼玉医科大学国際医療センター 小室 勇人
- P5-8 能登半島地震における当院AMAT活動報告
医療法人社団誠馨会 新東京病院 増井 敏郎

■ポスター 6

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震～福祉対応～ 1

座長 吉岡 留美 (人間総合科学大学 看護学科)
室野井智博 (島根大学医学部附属病院 災害医療・危機管理センター)

- P6-1 能登半島地震での高齢者施設広域避難において 3 名を受け入れた当院の経験
名古屋掖済会病院救急科 柳内 愛
- P6-2 能登半島地震における福祉施設の被害状況の評価を迅速に進めるための取り組み
～福祉施設簡易アセスメントシートを作成して～
島田市立総合医療センター 佐藤 充
- P6-3 戸田中央メディカルケアグループによる 119 日間の長期的な介護施設・病院支援の実績
一般社団法人 TMG 本部 武藤 和幸
- P6-4 愛知県の能登半島地震広域避難者支援における医療福祉連携の実情と課題
JA 愛知厚生連 江南厚生病院 野田 智子
- P6-5 能登半島地震における高齢者食支援活動の質的調査
浜松医科大学 健康社会医学講座 上田 規江
- P6-6 1.5 次避難所「一時待機ステーション」における転倒予防を目的とした多職種連携
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター リハビリテーション部門 住吉山健太

■ポスター 7

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震～福祉対応～ 2

座長 吉田 茜 (東京医療保健大学立川看護学部)
中田 康城 (堺市立総合医療センター 災害時医療管理センター)

- P7-1 摂食嚥下機能評価・支援における多職種連携
ー令和 6 年能登半島地震 1.5 次避難所での活動からー
千葉県千葉リハビリテーションセンター 言語聴覚科 山本小緒里
- P7-2 一時待機ステーションにおける介護福祉士との協働に関する工夫
済生会滋賀県病院 救命救急センター 小西友里江
- P7-3 DWAT における避難所活動の実際と今後の課題
ー令和 6 年能登半島地震 1.5 次避難所での活動を通してー
関西学院大学人間福祉学部 平井亜里砂
- P7-4 いつとき待機ステーションのその後
～DMAT 撤収後のいつとき待機ステーション
市立大津市民病院 吉田 修
- P7-5 令和 6 年能登半島地震における施設避難一時待機ステーション拡大期の運営報告
三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター／
三重大学医学部附属病院 災害医療センター 新貝 達

P7-6 令和6年能登半島地震における1.5次避難所のソーシャルワーク記録に関する考察
やわたメディカルセンター／石川県医療ソーシャルワーカー協会 林 真紀

P7-7 地域医療と住民を繋ぐー令和6年能登半島地震の長期活動からー
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香

■ポスター8

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

能登半島地震～薬事～

座長 吉田 香里(医療法人社団大坪会 東和病院 薬剤科)
中尾 博之(清恵会病院 救急医療センター)

P8-1 顧客満足度分析を用いた能登半島地震における岡山県薬剤師会災害支援薬剤師の評価
岡山県薬剤師会 災害対策特別委員会 大川 恭昌

P8-2 能登半島地震発生直後の調剤店舗業務再開・継続に向けた対応事例
株式会社スギ薬局 武田佳司実

P8-3 能登半島地震における岐阜県薬剤師会の初期対応とモバイルファーマシーによる医薬品供給
岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室／
岐阜薬科大学 地域医療薬学寄附講座／岐阜県薬剤師会 林 秀樹

P8-4 薬局・病院・大学の連携による能登半島地震における継続的な薬剤師派遣の取り組み
岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室／岐阜県薬剤師会 小池 紫

P8-5 令和6年能登半島地震における災害登録派遣薬剤師の病院薬剤師支援活動報告
宮崎大学医学部附属病院 矢野 翔太

P8-6 令和6年能登半島地震における避難所内仮設薬局の支援
東京労災病院 薬剤部 渡邊 卓巳

P8-7 取り下げ

■ポスター9

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

能登半島地震～食事・栄養～

座長 濱田 真里(食べるのいろは)
森崎 善久(所沢美原総合病院)

P9-1 災害派遣時にDMAT隊はどのような食品を持参すべきか
高知大学医学部災害・救急医療学講座 竹内 慎哉

P9-2 災害時の口腔保健および栄養ケアに関する課題と体制の検討
～能登半島地震支援活動における質的研究～
浜松医科大学 健康社会医学講座 小島 香

- P9-3 災害時「食べる」連携研修コース（D-EATs）設立に向けた試み
日本災害医学会 災害時「食べる」連携委員会／
東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 中久木康一
- P9-4 活動期間中の DMAT 隊員の栄養管理について
北里大学メディカルセンター 森 真希
- P9-5 支援者側への栄養管理：DMAT 派遣に際して栄養部と連携を図り複数の利点を見出した一例
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 危機管理部 廣瀬 正明
- P9-6 能登半島地震におけるミールラウンド支援活動と参加者のアンケート報告
高岡市民病院 藤岡 正行

■ポスター 10

1 日目（3 月 6 日）16:30～17:30

ポスター会場（第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B）

能登半島地震～看護～

座長 東岡 宏明（ひがしおかメディケアクリニック）
夏日恵美子（修文大学 看護学部）

- P10-1 同一災害に DMAT、災害支援ナースとして 2 度の派遣を経験したことから得られた意義
神戸市立医療センター中央市民病院 荻田 将之
- P10-2 災害フェーズの違いによる DMAT 看護師としての役割
～令和 6 年能登半島地震の活動から～
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 水谷 美穂
- P10-3 A 病院における能登半島地震への DMAT 看護師及び災害支援ナース派遣調整
信州大学医学部附属病院 関 昌代
- P10-4 令和 6 年能登半島地震における DMAT 看護師の活動
公益財団法人健和会 健和会大手町病院 杉浦 敦史
- P10-5 能登半島地震の被災地病院支援の中で、看護師目線で見えてきた問題点
三重中央医療センター 小野 純子
- P10-6 災害支援の NPO レスキューストックヤード（RSY）に結成した看護・福祉チームによる能登半島地震支援の活動報告と課題
愛知医科大学看護学部 佐々木裕子

■ポスター 11

1 日目（3 月 6 日）16:30～17:30

ポスター会場（第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B）

能登半島地震～その他～ 1

座長 内藤 宏道（岡山大学学術研究院医歯薬学域 救命救急・災害医学）
阪本 太吾（日本医科大学多摩永山病院 救命救急科）

- P11-1 能登半島地震、最大の二次避難者を受け入れた加賀市、および加賀市医療センターの取り組み、次の南海トラフに備えて
加賀市医療センター 北井 隆平

- P11-2 医療コンテナの実態調査に同行して感じたこと
学生 長崎大学 医学部 医学科 下野 舞花
- P11-3 災害亜急性期の病院支援 ～病院支援指揮所を閉所する～
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 土屋 洋之
- P11-4 災害対応にも臨床推論が重要だ
ハートライフ病院救急総合診療部 三戸 正人
- P11-5 能登半島地震後の脳血管疾患の動向
公立能登総合病院 圓角 文英
- P11-6 能登半島地震における国立病院機構医療班での経時活動記録共有システムについて
佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター／国立病院機構 嬉野医療センター 救急科 小野原貴之
- P11-7 能登半島地震医療活動における低温下コロナウイルス抗原定性検査の工夫と検査部から遠隔サポート
神戸赤十字病院 安部 史生
- P11-8 能登半島地震災害派遣における予備自衛官（衛生技能区分）の活動報告
名桜大学 菊原 美緒

■ポスター 12

1日目（3月6日）16:30～17:30

ポスター会場（第1展示館1階 第1展示館ホールB）

能登半島地震～その他～2

座長 関 啓輔（社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 災害管理室）
武田 宗和（東京女子医科大学病院 救命救急センター）

- P12-1 顔の見える関係が被災地に真心を届ける～真心靴下大作戦！心も身体も温めよう～
公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 榎本 恭子
- P12-2 災害関連死抑止を目指した中長期支援
～医療者によるサロン活動の意義～
特定非営利活動法人ジャパンハート 栢田 眞弓
- P12-3 珠洲市役所における災害支援サロン活動及びあるといい支援報告
災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 朝日山一男
- P12-4 令和6年能登半島地震における柔道整復師による災害救護について
公益社団法人 石川県柔道整復師会／公益社団法人 日本柔道整復師会 川上 勝
- P12-5 被災時の多職種による連携に向けて
- 能登地震災害支援を体験して -
横須賀市保健所 松川加奈子
- P12-6 災害医療学会 災害医療コーディネーションサポートチーム 6年間の進化と課題
ー 2018年西日本豪雨から2024年能登半島地震へー
日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 井上 潤一

P12-7 能登半島地震における日本プライマリ・ケア連合学会プロジェクトチームの業務調整員としての取り組み

多摩ファミリークリニック 伊藤 竜彦

P12-8 能登半島地震災害被災地でのボランティア活動の報告

四日市看護医療大学 小寺 直美

■ポスター 13

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

病院災害訓練 1

座長 北川原 亨(認定NPO法人 災害医療ACT研究所)
岡本 健(順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科)

P13-1 災害訓練アンケート集約の省力化と可視化の工夫

医療法人王子総合病院 谷川 賢二

P13-2 災害拠点病院の病院救急救命士が院内災害教育にもたらす効果

川崎市立多摩病院 東 祐樹

P13-3 病院災害対策室運営訓練に「現状分析と課題」シートを導入したことに対する効果

浜松医科大学医学部附属病院 平野梨辺香

P13-4 災害訓練(多数傷病者対応演習)から見えた、情報伝達の課題

埼玉医科大学国際医療センター 看護部 内藤 茜

P13-5 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練の分析評価(1):
3年間の経年比較分析

東京大学 菅野 太郎

P13-6 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練の分析評価(3):
タスク所要時間を考慮した患者の流れの計算機シミュレーション

東京大学 Dewanti Desak Ayu Clara

P13-7 災害対策本部訓練の机上シミュレーション化による幹部職員への教育効果向上

東北医科薬科大学 医学部 佐藤 大

P13-8 オンラインクイズを活用したスタッフの知識向上への取り組み
-手術室稼働中に起きた停電により発覚した問題点を受けて-

奈良県立医科大学附属病院 小川 翔士

■ポスター 14

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

病院災害訓練 2

座長 藤本万理恵(第一三共株式会社)
山岸 庸太(名古屋市立大学病院 救急科)

P14-1 CBRNE 災害対応訓練
—新たな診療放射線技師の取り組み—

独立行政法人都立広尾病院 / 乗松整形・骨粗鬆症クリニック 坂本 範昭

- P14-2 手術室災害時段階的訓練
新小文字病院 藤田 寛之
- P14-3 病院薬剤部内における大規模地震災害を想定した初動訓練の評価(第2編)
京都第二赤十字病院薬剤部 小西加奈子
- P14-4 東京都立病院機構受援対応訓練におけるA病院看護部の活動報告
東京都立大久保病院 尾関とし美
- P14-5 看護師主体で行ったCBRNE災害対応訓練
東京都立広尾病院 竹内 寿史
- P14-6 A災害拠点病院における地震災害を想定した机上訓練による電子カルテ機能停止の課題
公益社団法人 地域医療振興協会 公立丹南病院 看護部 窪田 直美
- P14-7 法医解剖医・検視官と協働した多数傷病者受入訓練における黒エリア活動の取り組み
三重大学医学部附属病院 医療安全管理部 佐々木典子
- P14-8 令和5年度大規模地震時医療活動訓練における2例の偶発的事象に関して
日本赤十字社 松山赤十字病院看護部 柱尾 明美

■ポスター 15

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

病院災害訓練3

座長 瀬戸 弘和(伊東市民病院 薬剤室)
船曳 知弘(藤田医科大学病院 高度救命救急センター)

- P15-1 勤務時間外に発災した災害初動時の本部運営訓練について
和歌山県立医科大学 宮田 亜季
- P15-2 多数傷病者対応のための机上訓練から実動訓練へのステップアップの過程と今後の課題
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 救急科 山下 貴弘
- P15-3 災害訓練から浮かび上がった問題点の検討
飯塚病院 救急科 山田 哲久
- P15-4 緊急医療救護所の立ち上げに関する当院における災害訓練の取り組みと課題
国立研究開発法人国立国際医療研究センター(NCGM)病院 薬剤部 百武 宏志
- P15-5 多数傷病者受け入れ机上訓練実施後の効果と課題
筑波メディカルセンター病院 看護部 内田 里実
- P15-6 災害拠点病院における災害訓練の評価と今後の課題
宝塚市立病院 福本 理乃
- P15-7 東京都立病院機構における災害時参集訓練の経験
東京都立広尾病院 減災対策支援センター 小野川 淳
- P15-8 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受け入れ訓練の分析評価(2):
計算機シミュレーションのためのタスク所要時間モデルの作成
東京大学 西村 理希

■ポスター 16

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

病院の備え 1

座長 関根 和弘(京都橘大学 健康科学研究科)
藤塚 健次(前橋赤十字病院 集中治療科救急科)

- P16-1 B病院における医療救援者のレジリエンスと精神的負担軽減を目的とした活動支援についての考察
富山県立中央病院 柴田 直希
- P16-2 非災害拠点病院における災害対策委員会の2年間の取り組みについて
医療法人 永井病院 坂谷 晴加
- P16-3 DMAT隊による搬送業務の不安軽減を目指した取り組み
地方独立行政法人長野市民病院 救急科 別府 克海
- P16-4 被災状況報告用紙の改訂
市立青梅総合医療センター 遠藤 一平
- P16-5 大規模災害に備えた病院職員被災状況の把握
近畿大学奈良病院 辻谷 太
- P16-6 冠動脈形成術に災害が発生した場合の対応についての検討
江東病院 高部 智哲
- P16-7 自作した火災机上訓練セットの火災実働訓練に対する効果
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重大学医学部附属病院 看護部 寺村 文恵
- P16-8 地震災害時の病院職員確保のための保育対応事例の分析
徳島大学環境防災研究センター 中野 晋

■ポスター 17

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

病院の備え 2

座長 後藤 縁(名古屋掖済会病院 救命救急センター)
國方 美佐(香川大学医学部附属病院 救命救急センター)

- P17-1 災害時受援体制確立への取り組み 第2報
～災害支援ナースへのオリエンテーションのしおり作成～
桑名市総合医療センター 岩谷 美佳
- P17-2 院内職員のEMIS研修について
東京都立墨東病院 事務局 医事課 市原 英司
- P17-3 多数傷病者対応に向けた防災リンクナースへの教育計画
筑波大学附属病院 高度救命救急センター 亀本加奈子
- P17-4 病院・消防の合同研修会の取り組みの報告
稲沢市民病院 丹村真由美

- P17-5 大規模災害発生時の ER 看護師の初期動作を体験する
シミュレーション研修の効果検証
独立行政法人大津市民病院 高木 美紀
- P17-6 病院薬剤部における災害対策に向けた多角的な取り組み
聖隷浜松病院 青木 勇樹
- P17-7 病院救急救命士の安全管理に対する意識調査から見た今後の課題
順天堂大学医学部附属練馬病院 救命救急センター 廣田 恵典

■ポスター 18

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

地域・他組織連携 1

座長 竹上 徹郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)
武田 徹 (国立病院機構 DMAT事務局 新興感染症対策課)

- P18-1 同一医療圏内での DMAT 合同チーム編成に向けた協働の取り組み
日本赤十字社 松江赤十字病院 放射線科部 石田 知大
- P18-2 三重 L-DMAT の役割と効果：地域に根ざした日本 DMAT 補完体制の構築
松阪中央総合病院 向井 慎治
- P18-3 和歌山県 DMAT ロジスティクス研修を踏まえた和歌山県ロジの現状
ひだか病院 藤本 順智
- P18-4 災害医療の学びを広げる：地域の災害拠点病院を結ぶオンライン勉強会
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 水田 宜良
- P18-5 災害看護専門看護師の主導による、A 災害拠点病院と近隣医療機関の看護職を対象とした災害看護教育プログラムの実施
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 寺内 文平
- P18-6 東京都練馬区登録看護師を対象とした災害医療講習会の意義
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 野村 智久
- P18-7 災害時の受援体制整備
地域災害応援ナース実動訓練を通して
公益社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 看護部 山口 弘子

■ポスター 19

1 日目 (3 月 6 日) 16:30 ~ 17:30

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

鍼灸マッサージ

座長 切田 学 (加古川中央市民病院 救急科)
金子 唯 (藤田医科大学ばんだね病院 救急科)

- P19-1 令和 6 年能登半島地震 珠洲市役所支援者支援活動報告
—多職種連携で支援者を守る—
DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会/公益社団法人日本鍼灸師会 危機管理委員会 是元 佑太

- P19-2 被災現場における衛生環境破綻時の感染症予防を目的とした鍼通電刺激による血中エンドトキシン耐性の向上効果
帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科/筑波大学 医学医療系 小峰 昇一
- P19-3 能登豪雨災害における鍼灸支援活動
特定非営利活動法人アムダ 小川 直美
- P19-4 取り下げ
- P19-5 被災者へのケア活動時に心拍センサーの活用を
(鍼灸マッサージによる安全性の向上へ)
履正社国際医療スポーツ専門学校/災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 DSAM / 公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会/公益社団法人 日本鍼灸師会 古田 高征

■ポスター 20

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

原子力・被爆1

座長 染谷 泰子(帝京平成大学 健康メディカル学部)
久保山一敏(京都橘大学 健康科学部)

- P20-1 緊急被ばく患者受け入れシミュレーションの実施と課題の検討
日本医科大学付属病院 看護部 宮本 愛
- P20-2 放射性物質による汚染傷病者受入実習における医療者を介した汚染拡大の検証
量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 被ばく医療部 松尾 帆浪
- P20-3 災害支援ナースに関心がある看護職における放射線被ばくに関する研修受講効果
独立行政法人 佐世保市総合医療センター 原口 栄子
- P20-4 原子力災害オンサイト医療ネットワークの体制整備への取り組みについて
日本原燃株式会社 横濱 和泰
- P20-5 防災士を対象とした放射線防災研修プログラムの開発と実践報告
福島県立医科大学大学院医学研究科国際被ばく保健看護学講座 佐藤 美佳
- P20-6 福島第一原子力発電所事故で被災した30km圏内自治体職員の放射線に関する負の経験
長崎大学 原爆後障害医療研究所 松永妃都美
- P20-7 能登半島地震における救護活動を通じて明らかになった救護班員の被ばく測定に関する問題点
仙台赤十字病院 鈴木 陽

■ポスター 21

1日目(3月6日) 16:30～17:30

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

その他1

座長 西 健太(大阪急性期・総合医療センター)
玉井 文洋(社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター 救急科)

- P21-1 南海トラフ巨大地震に対する知多半島医療圏における取り組み
～知多半島医療圏災害連携会議の活動報告～
半田市立半田病院 澤田 周志
- P21-2 受援体制確保を見据えて
～災害医療コーディネーター(Co.)の拡充と他分野Co.との連携～
徳島県保健福祉部 鎌村 好孝
- P21-3 災害医療体制の乏しい中山間地域での局地災害への対策・対応を考える
利根中央病院/国立病院機構本部 DMAT事務局 鈴木 諭
- P21-4 解体予定の旧病院を使用した国際消防救助隊と医療チームの連携訓練
社会医療法人恵愛会 大分中村病院 河野光太郎
- P21-5 南海トラフ地震臨時情報発表時のライフセーバーの組織的行動
岸和田徳洲会病院 救命救急センター 鍛冶 有登
- P21-6 整形外科の主要学会における災害関連の演題数の推移に関する検討
秦野赤十字病院 整形外科 松山 大輔
- P21-7 救助隊員の厳冬期都市型搜索救助活動における脱水の可能性について
旭川医科大学 脳神経外科学 高橋 未来

■ポスター 22

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

歯科・口腔

座長 中久木康一(東北大学 大学院歯学研究科災害・環境歯学研究センター)
趙 晃済(国立病院機構京都医療センター 救命救急センター)

- P22-1 口腔内スキャナと深層学習を活用した歯科的個人識別法の検討
九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座高齢者歯科学・全身管理歯科学分野 神村 崇悟
- P22-2 令和6年能登半島地震におけるJDAT(日本災害歯科支援チーム)派遣
東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター/
日本歯科医師会 災害対応アドバイザー 中久木康一
- P22-3 令和6年能登半島地震における口腔衛生管理指導と多職種連携について
宝塚医療大学 瀬戸口祐子
- P22-4 災害歯科医学に関する卒前教育状況の変遷
-過去6年の広島大学病院研修歯科医への質問紙調査から-
広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター 岡 広子

P22-5 中高生を対象とした体験実習における Disaster Victim Identification 訓練
(歯科所見による身元確認) の取り組み
東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 法歯学 山田 明佳

P22-6 日本災害歯科支援チーム (JDAT) について
神奈川歯科大学 歯学部 法医学講座 山田 良広

■ポスター 23

2日目 (3月7日) 17:20 ~ 18:20

ポスター会場 (第1展示館1階 第1展示館ホールB)

ライフライン

座長 町田 浩志 (国立病院機構高崎総合医療センター 救命救急センター 救急科)
許 吉起 (医療法人社団聖愛会 ぎおん牛田病院 外科・総合診療科)

P23-1 大都市停電による当院の対応と課題
医学研究所北野病院 救急科 平川 昭彦

P23-2 災害時の停電による電子カルテ使用不能時に備えた対策の実態
~看護管理責任者の視点から~
東京医療保健大学 坂本 実優

P23-3 徳島県内の医療機関における断水対策の現状と課題
徳島大学環境防災研究センター 湯浅 恭史

P23-4 地域の瞬間停電による病院機能低下と対応の課題
一宮西病院 瀬尾 亮太

P23-5 取り下げ

P23-6 当院における停電時対応マニュアルの作成
戸畑共立病院 綾塚 仁志

P23-7 アクションカードを用いた停電をとまなう地震に対する災害訓練
京都山城総合医療センター 東尾 智子

■ポスター 24

2日目 (3月7日) 17:20 ~ 18:20

ポスター会場 (第1展示館1階 第1展示館ホールB)

TTT

座長 安田 貢 (JA福島厚生連 白河厚生総合病院 救急治療科)
成田麻衣子 (りんくう総合医療センター 危機管理室・救命診療科)

P24-1 トリアージ従事者の法的保護に向けた現行制度の活用可能性に関する検討
森・濱田松本法律事務所/カリフォルニア大学ロサンゼルス校 南谷 健太

P24-2 日常で遭遇する筋圧挫とその経過~災害時のクラッシュ症候群治療に備える~
国立国際医療研究センター病院 福島 憲治

P24-3 防衛医科大学校における爆発損傷 (爆傷) に対する研究
防衛医科大学校 防衛医学研究センター 外傷研究部門/防衛医科大学校病院 救急部 霧生 信明

- P24-4 搬送経路としての海路と搬送手段としての定期航路フェリーの活用の利点
青森県立中央病院 小笠原 賢
- P24-5 事例から考える非都市部での集中搬送の課題
京都府立医科大学 救急・災害医療システム学/
京都府立医科大学附属北部医療センター 救急科 武部弘太郎
- P24-6 スプレッドシートはもう不要！ Notion を使った患者搬送管理
札幌徳洲会病院 平山 傑
- P24-7 QRコードを用いた簡易的トリアージ情報管理システムを地域消防組織に展開する試み
みさと健和病院 救急総合内科/獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科 山田浩二郎
- P24-8 取り下げ

■ポスター 25

2日目（3月7日）17:20～18:20

ポスター会場（第1展示館1階 第1展示館ホールB）

BCP・マニュアル全般 1

座長 畑 倫明（宇治徳洲会病院 高度救命救急センター）
田治 明宏（広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学）

- P25-1 サイバーセキュリティ BCP の策定
新小文字病院 熊 奈津代
- P25-2 サイバーテロ対応マニュアルの策定に向けて
公立昭和病院 井部 昌彦
- P25-3 部署別ハザードマップの作成とその意義について
医療法人雄心会 青森新都市病院 齋藤 信実
- P25-4 災害時用看護経過記録用紙の作成
聖路加国際病院救命救急センター 香取 雅美
- P25-5 院内職員に向けた夜間・休日における災害初動対応教育に動画を用いた取り組み
公立西知多総合病院 小澤 智丈
- P25-6 介護施設支援を行って見えた BCP としての受援計画
聖マリアンナ医科大学病院 / NPO 法人 災害人道医療支援会 (HuMA) 松村あづさ
- P25-7 在宅療養支援病院としての当院における BCP の現状と課題
医療法人社団守成会 広瀬病院 在宅診療部 篠 美和

■ポスター 26

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

BCP・マニュアル全般2

座長 益満 茜(京都橋大学 健康科学部救急救命学科)
有吉 孝一(神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)

- P26-1 院内災害訓練における薬剤部BCPの取り組みと評価
岐阜市民病院薬剤部 馬淵 成博
- P26-2 災害時の病院機能維持に向けた業務圧縮手順書の導入
東京都立広尾病院 看護部 佐藤 泰賀
- P26-3 研修医向けアクションカードの取り組み
札幌東徳洲会病院 山城 美羽
- P26-4 東北ブロックDMAT参集訓練を活用した新病院におけるBCP・災害対策マニュアル・アクションカードの作成
山形県立新庄病院 長瀬 輝顕
- P26-5 災害発生時時の黄エリアにおける資器材・薬剤リスト運用の検証
富山市立富山市市民病院 樋口 正樹
- P26-6 国立病院機構横浜医療センターにおける初動薬剤リスト作成へ向けた取り組み
国立病院機構横浜医療センター 畑山 賢輔
- P26-7 災害時医薬品在庫管理アプリ「MedStock」の構築
岡山大学病院 薬剤部 川端 崇義
- P26-8 A病院救命救急センターでの火災発生時のアクションカード作成と評価
藤田医科大学病院 看護部 岩附 瑞己

■ポスター 27

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

能登半島地震～避難所～

座長 山田 裕彦(岩手県立大船渡病院 救命救急センター)
服部 友紀(名古屋市立大学病院 救急科)

- P27-1 避難所における睡眠環境～能登地方地震後と豪雨災害後～
佐賀大学医学部看護学科 鈴木智恵子
- P27-2 能登半島地震で実施した避難所のゾーニング活動についての報告
福岡徳洲会病院 久保山貴史
- P27-3 長期TMAT活動における避難者記録の統一化に関する取り組み
医療法人徳洲会福岡徳洲会病院看護部 内田 愛佳
- P27-4 能登半島地震・豪雨災害におけるスフィア基準に基づいた支援と受援：支援偏
岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域看護科学分野 原田奈穂子

P27-5 能登半島地震・豪雨災害におけるスフィア基準に基づいた支援と受援：受援偏

ごちゃまるクリニック 小浦 友行

■ポスター 28

2日目（3月7日）17:20～18:20

ポスター会場（第1展示館1階第1展示館ホールB）

能登半島地震～鍼灸マッサージ～

座長 山下 直美（大阪急性期・総合医療センター）
三谷 智子（明治国際医療大学）

P28-1 能登半島地震における支援者支援活動
～被災地における鍼灸マッサージ師の新たな視点でのアプローチ～

公益社団法人 埼玉県鍼灸マッサージ師会 猪野 幸峰

P28-2 能登半島地震における DSAM 先遣隊の活動及び石川県庁における支援者支援報告

災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会／
公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 災害対策委員会 榎本 恭子

P28-3 令和6年能登半島地震における珠洲市職員に対する鍼灸マッサージ師による健康支援
活動～被災地における支援者支援の必要性～

災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会／公益社団法人日本鍼灸師会 広報普及委員会／
公益社団法人福岡県鍼灸マッサージ師会 災害対策委員会 矢津田善仁

P28-4 令和6年能登半島地震 石川県鍼灸師会・石川県鍼灸マッサージ師会による災害協定
に基づく支援活動報告

DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会／公益社団法人日本鍼灸師会 危機管理委員会 是元 佑太

P28-5 被災支援における、広域的な支援者派遣の難しさについて

災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会（DSAM）／
公益社団法人 大阪府鍼灸師会 危機管理委員会 堀口 正剛

P28-6 避難所被災者支援における DSAM から県鍼灸師会への引継ぎの重要性

（有）松浦治療 松浦 浩市

■ポスター 29

2日目（3月7日）17:20～18:20

ポスター会場（第1展示館1階第1展示館ホールB）

能登半島地震～学生～

座長 香田 将英（岡山大学 学術研究院医歯薬学域地域医療共育推進オフィス）
成松 英智（札幌医科大学 救急医学講座・高度救命救急センター）

P29-1 令和6年度における中国 DMAS の活動報告

山口県鴻城高等学校衛生看護専攻科 佐藤 寛志

P29-2 医療系学生の防災意識と防災行動に関する調査—DMAS と一般学生の比較—

弘前大学医学部保健学科看護学専攻 橋本 虹輝

P29-3 東北 DMAS 卒業生が災害実務につくまでの課題について

石巻赤十字病院 救急科 荻野 亮平

- P29-4 災害医療及び支援を担える人材育成のための大学教育プログラムの提案
～奥能登で活動が続ける医療系学生からのメッセージ～
金沢大学医薬保健学域医学類 橋本 晃貴
- P29-5 能登半島地震における珠洲市保健医療福祉調整本部での活動報告
～学生が行う災害支援活動のこれまでとこれから～
岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座 柏木 杏奈
- P29-6 能登半島地震における災害福祉支援学生チームの組織化と運営
日本福祉大学 福祉経営学部 医療福祉マネジメント学科 山本 克彦
- P29-7 令和6年能登半島地震と能登半島豪雨における医療系学生の初動対応及び支援活動の
比較検証
金沢大学医薬保健学域医学類 橋本 晃貴
- P29-8 能登半島災害での学生災害ボランティア活動支援と多職種連携活動が彼らに与えた影響
日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科/
日本体育大学大学院 保健医療学研究科 救急災害医療学 三橋 正典

■ポスター 30

2日目 (3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場 (第1展示館1階 第1展示館ホールB)

テロ対策・マスギャザリング

座長 武川 礼子 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター ICU/初療室)
高橋 耕平 (横浜市立市民病院 救急診療科)

- P30-1 病院施設等の防護レベルの設定と体制づくり、訓練の実施について
日本大学 照井 資規
- P30-2 南海トラフ地震に伴い発生が想定される NATECH とその対策
産業医科大学 救急・集中治療医学 尾崎 将之
- P30-3 NBC 想定訓練 - シアン中毒患者の Walk in-
東京曳舟病院 救急救命士課 磯崎 千尋
- P30-4 CBRNe 事態における生死を分ける最初の 10 分間の対応の標準化
日本大学 照井 資規
- P30-5 常設型災害初動対応スペースを設置することによりハードとソフト双方からのレジリエンス強化を実現した試みについて
日本赤十字社医療センター 救命救急センター・国内医療救護部/
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 鷺坂 彰吾
- P30-6 集団災害医療の考え方を取り込んだスポーツ医療における EAP 作成のとりくみ
川崎医科大学/広島文化学園大学 桜井 由佳
- P30-7 災害医療チームとしてのトライアスロン医療班での経験
医療法人徳洲会徳之島徳洲会病院看護部/NPO 法人 TMAT 浅野 京香
- P30-8 神経剤による多数傷病者発生事案訓練への解毒剤自動注射器の使用報告
北九州市立八幡病院 平松 俊紀

■ポスター 31

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

病院災害訓練 4

座長 松井 賢(島根県立中央病院 放射線技術科)
高木 省治(愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ健康医科学科 救急救命学専攻)

- P31-1 院内災害訓練における黒エリア運用の検討
独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター 竹田明希子
- P31-2 事務職員と看護師を対象にしたEMIS入力訓練に対するアンケート評価
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター 広平 理絵
- P31-3 新設病院における災害時管理体制構築時の日本DMAT隊員の有用性と効果
医療法人社団晃悠会むさしの救急病院 本間健太郎
- P31-4 生成AI活用による災害訓練の計画・評価効率化の可能性
南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 高山 良光
- P31-5 大規模地震を想定した院内災害救護訓練における薬剤部の取り組み
京都第二赤十字病院 薬剤部 川島 裕明
- P31-6 病院行動評価群Iを想定し行った訓練の報告
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 大木 通
- P31-7 外国人ボランティアおよび医療通訳士と協働した多数傷病者受け入れ訓練から明らかになった外国人傷病者受け入れ体制の課題
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重大学医学部附属病院 看護部 稲葉 枝織

■ポスター 32

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

病院災害訓練 5

座長 坂東 淳(徳島大学環境防災研究センター)
藤田 基生(東北大学病院 高度救命救急センター)

- P32-1 日本赤十字社佐賀県支部が実施する救護班要員研修会の変遷
～よりよい研修成果を目指して～
唐津赤十字病院 酒井 正
- P32-2 津波籠城を想定した院内災害訓練
徳島赤十字病院 救急科 福田 靖
- P32-3 院内停電点検及び自家発電負荷試験時に併せて実施した災害訓練
社会医療法人 陽明会 小波瀬病院 安部 亮
- P32-4 当院の停電訓練活動報告
医療法人伯鳳会東京曳舟病院救急科 三浦 邦久
- P32-5 エレベーター使用不能を想定し非常階段を使用した患者給食運搬訓練
日本医科大学付属病院 栄養科 酒井 良子

- P32-6 津波到達までに何が出来るか？第2報 -44分間の垂直避難訓練 -
市立室蘭総合病院 下館 勇樹
- P32-7 グループ病院共同での災害医療支援チーム設立に向けた取り組み
晃悠会 むさしの救急病院 集中治療室 小坂 龍嗣
- P32-8 大型ヘリによる患者搬出拠点能力評価：病院敷地内待機所と隣接離発着場の効率運用
千葉県総合救急災害医療センター 中田 元気

■ポスター 33

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

病院災害訓練6

座長 楠 孝司(国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 災害対策部)
酒井 智彦(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

- P33-1 病院組織の特殊性にアプローチした災害対策の推進
東京大学医学部附属病院 湯澤 紘子
- P33-2 院内災害救護訓練における各エリア見学ツアーの試み
日本赤十字社 長野赤十字病院 竹内 隆志
- P33-3 「自立型避難経路確認ツアー」実施とその評価に関する考察
聖路加国際病院救命救急センター 石川 里帆
- P33-4 日めくりカレンダーを利用した災害時記録周知方法の検討
聖路加国際病院 救急救命センター 有賀 季穂
- P33-5 DMAT 指定医療機関を目指した取り組みについて
医療法人雄心会 青森新都市病院 高屋 誠吾
- P33-6 産科医院での災害医療対応シミュレーション
高知大学医学部医学科3年生 橋本 梨鈴

■ポスター 34

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

地域・他組織連携2

座長 峯田 雅寛(山形県立中央病院 救急室)
武山 佳洋(市立函館病院 救命救急センター)

- P34-1 被災地域のDMAT隊員を支援 DMATのカウンターパート役として配置した本部活動
市立青梅総合医療センター 比嘉 武宏
- P34-2 災害拠点病院敷地内搬送待機所と隣接大型ヘリポート運用の報告と今後の展望
千葉県総合救急災害医療センター 武政 輝希
- P34-3 災害時のドクターヘリ運用に関する、スタッフ教育の試み
聖隷三方原病院 高度救命救急センター 志賀 一博
- P34-4 令和6年度大規模地震時医療活動訓練における君津安房夷隅活動拠点本部の活動報告
永富脳神経外科病院 石井 圭亮

- P34-5 大規模災害時における医療搬送拠点のあり方についての検討
～令和6年度大規模地震時医療活動訓練 立川駐屯地 SCU 訓練の課題から～
鳥取大学医学部附属病院 恩部 陽弥
- P34-6 大規模地震時医療活動訓練にて保健医療福祉調整本部を設置した訓練を企画して
神奈川県健康医療局 村田 沢人
- P34-7 ブロック DMAT 実働訓練（台風・大水害想定）コントローラーに関する一考察
法務省 施設等機関（沖縄刑務所） 山田 光郎
- P34-8 病院防災訓練・近畿地方 DMAT ブロック訓練と連動した給水訓練（実働）の実際
兵庫医科大学病院 薬剤部 田中 邦佳

■ポスター 35

2日目（3月7日）17:20～18:20

ポスター会場（第1展示館1階第1展示館ホールB）

地域・他組織連携3

座長 川内 敦文（高知県 健康政策部）
尾川 華子（広島大学 大学院医系科学研究科公衆衛生学）

- P35-1 秩父地域の災害研修会
深谷赤十字病院 救急診療科 長島真理子
- P35-2 愛知県知多半島北部エリアに向けての災害教育活動報告
公立西知多総合病院 日高 友里
- P35-3 医療機関と行政との連携体制の構築～葛飾区の取り組み～
正志会 平成立石病院／公益社団法人 葛飾区医師会 大桃 丈知
- P35-4 尾張西部地区における保健医療調整会議設置・運用訓練の変遷と問題点
一宮市立市民病院 山口 均
- P35-5 名古屋市西区における区内の災害協力病院と連携した医療救護所設置訓練の実施
名古屋市健康福祉局健康部保健医療課 中島 大樹
- P35-6 避難所等との通信回線確保の重要性
- 地域無線通信ボランティア活動の10年を振り返る
日本赤十字社 伊勢赤十字病院 説田 守道
- P35-7 横浜市青葉区における MCA 無線を用いた多機関合同災害時通信訓練の実際
一成会 たちばな台クリニック 山崎 継敬
- P35-8 災害医療コーディネーターとして参加した岐阜県緊急対策チーム図上訓練の経験
岐阜赤十字病院 山田 忠則

■ポスター 36

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

地域・他組織連携 4

座長 和泉 邦彦(藤田医科大学 医学部地域医療産学連携共同研究講座)
田口 茂正(さいたま赤十字病院 高度救命救急センター)

- P36-1 災害時の多職種連携に機軸を置いた事業継続計画(BCP)策定支援プログラムの開発と受講効果の検証
国立病院機構 姫路医療センター 薬剤部 飯沼 公英
- P36-2 地域連携 BCP の策定に向けた第一歩
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 浦野 紘明
- P36-3 地域で作成する BCP「災害時行動指針策定研修」に関する一考察
岩手医科大学 救急・災害医学講座 金子 拓
- P36-4 静岡県総合防災訓練企画における当院と熱海市との関係構築過程報告
国際医療福祉大学熱海病院 秋津 賢太
- P36-5 2カ所同時に行った市医療救護所開設訓練
刈谷豊田総合病院 救命救急センター 安藤 雅樹
- P36-6 石巻圏域大規模災害時在宅酸素療法患者支援システム構築について
石巻赤十字病院 高橋 邦治

■ポスター 37

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

小児周産期

座長 山口 順子(日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野)
竹内 美妃(札幌医科大学医学部公衆衛生学講座)

- P37-1 令和6年度大規模地震時医療活動訓練
一神奈川県災害時小児周産期リエゾン訓練活動報告
北里大学医学部産婦人科学産科学 服部 響子
- P37-2 NICU・GCU・新生児室における災害に関する研究動向
防衛医科大学校 小児看護学講座 内藤 章子
- P37-3 地域の妊婦と赤ちゃんを守るための妊産婦情報の管理
～熊本地震から能登半島地震へ～
大阪医療センター 総合診療科/災害人道医療支援会 山下 公子
- P37-4 令和6年能登半島地震を経験した妊婦の災害の備えの現状と防災教育の検討
恵寿総合病院 角野 莉加
- P37-5 令和6年能登半島地震において改めて提言する被災地妊婦の脆弱化を防ぐ母子避難所の必要性
恵寿総合病院 新井 隆成

P37-6 乳幼児の保護者からの災害時情報の発信

松本看護大学 原岡 智子

P37-7 乳幼児を持つ保護者の地震災害における物品の備えの関連要因

松本看護大学 看護学部 五十嵐佳寿美

■ポスター 38

2日目 (3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場 (第1展示館1階 第1展示館ホールB)

DPAT

座長 丸山 嘉一 (日本赤十字社医療センター 国内・国際医療救援部)
安本 友子 (医療法人康生会 豊中平成病院 看護部)

P38-1 南海トラフ地震等の激甚災害における DPAT の必要隊数及び役割の検討

DPAT 事務局 / 品川区立教育総合支援センター 尾崎 光紗

P38-2 能登半島地震における DPAT 活動と課題～ DPAT インストラクターの視点から～

石川県立こころの病院 池田 隆義

P38-3 災害派遣精神医療チーム (DPAT) 活動における機能強化のための課題について
—自治体からの視点—

DPAT 事務局 納橋 優奈

P38-4 大規模地震時医療活動訓練における大阪府 Local DPAT 隊員中心のチーム編成の課題

大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 藤江 直輝

P38-5 大規模災害等発生時の災害精神医療体制について～佐賀県での整備実情を通して～

肥前精神医療センター 平位 和寛

P38-6 災害派遣精神医療チーム (DPAT) 活動における地域連携強化のための課題について
—DMAT 地方ブロック訓練への参加推進に向けて—

DPAT 事務局 納橋 優奈

P38-7 令和6年度大規模地震時医療活動訓練における2大学病院合同 DPAT 参加の試み

横浜市立大学附属病院 木曾 紀宗

■ポスター 39

2日目 (3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場 (第1展示館1階 第1展示館ホールB)

心のケア1

座長 松田 潔 (道志村国民健康保険診療所)
安藤和佳子 (神戸赤十字病院 薬剤部)

P39-1 能登半島地震での災害派遣後感じた支援者のこころのケアの重要性

石巻赤十字病院 永井 未佳

P39-2 令和6年能登半島地震における災害支援者の疲労度および関連要因の検討

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 永田 達祐

P39-3 災害派遣要員へのメンタルサポート体制の効果確認

長浜赤十字病院 看護部 押谷久美子

- P39-4 令和6年能登半島地震における災害派遣隊員のストレス実態とその変化
NHO 岡山医療センター DMAT 小林和歌子
- P39-5 能登半島地震派遣後に DMAT 隊員に行ったメンタルチェック
(オリジナルストレスチェックシートの作成)
川崎市立井田病院 災害医療等委員会 DMAT 部会 下澤 信彦
- P39-6 災害支援者のメンタルヘルスケア
茨城県立中央病院 青山 一紀
- P39-7 奥能登豪雨災害における DPAT 活動報告
～二重災害に遭遇した被災者の心的反応とこころのケア～
石川県立こころの病院 池田 隆義
- P39-8 自然災害(地震・豪雨)発生後における精神科入院患者の行動とその行動特性
—適応の視点からの分析—
広島大学大学院医系科学研究科博士後期課程 立垣 祐子

■ポスター 40

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

心のケア2

座長 立松 美穂(独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター)
高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学)

- P40-1 災害救護派遣時の事前研修の重要性
～こころのケアについて～
石巻赤十字病院 新田 聖美
- P40-2 被災経験による看護師のこころのケアの理解における混乱
吉備国際大学 橋本 大海
- P40-3 東日本大震災被災地長期メンタルヘルス支援過程における需要変化と対応
認定NPO法人 心の架け橋いわて 鈴木 満
- P40-4 災害急性期に精神科医療体制の地域特性を把握することの重要性
獨協医科大学埼玉医療センター/厚生労働省委託事業 DPAT 事務局 五明佐也香
- P40-5 地震災害後、心的外傷後ストレス障害(PTSD)はどれくらい生じるのか?
筑波大学 医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター 矢口 知絵
- P40-6 令和6年能登半島地震による心理的影響を対象としたweb調査:
9ヶ月経過時点での調査
秋田大学 新学部設置準備担当/秋田大学 地域防災減災総合研究センター 門廻 充侍
- P40-7 臨床宗教師と災害医療に携わる医療従事者との協働について
東北大学大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野博士課程後期 川崎 磨美
- P40-8 救急救命士を養成する学士課程での災害・救急の場における遺族支援教育の効果
—授業科目【遺族看護学】を初開講して—
鈴鹿医療科学大学 久保田千景

■ポスター 41

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

新しい取り組み

座長 安心院康彦(帝京大学医学部 救急医学講座)
谷口健太郎(松阪中央総合病院)

- P41-1 非常用階段可変式降下ストレッチャーの有効性に関する比較
関西国際大学 田中 綾子
- P41-2 災害時孤立地域における通信医療機器を活用した遠隔医療
新城市民病院 診療技術部 臨床工学課 守屋 賢志
- P41-3 災害現場における救急医療チームと調整本部による先進技術の応用に関するスコーピングレビュー
日本医科大学 医学部 宮本 紗英
- P41-4 災害時にも使用できる診療ツールの開発とその有効性の検証
群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 河野 慧
- P41-5 デジタルツールを用いた円滑な情報共有方法の検討
高知大学医学部医学科 塚本 尚志
- P41-6 統計データに基づく災害拠点病院の最適配置に関する検討
学生 北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科 北島 夏実
- P41-7 外傷後の coagulopathy の診断に thromboelastogram を使用する
三田市民病院救急 橋本 直樹
- P41-8 フリーツールを活用して自作した、災害時の院内被害情報と職員の安否参集情報が管理可能なシステムの有用性を検証する
春日井市民病院 河合 豊

■ポスター 42

2日目(3月7日) 17:20～18:20

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

慢性疾患・在宅医療・要配慮者

座長 柴田 隼人(愛知医科大学 災害医療研究センター)
佐々木吉子(東京科学大学 大学院保健衛生学研究科)

- P42-1 被災者の生活再建におけるソーシャルワーク実践に関する研究
- 常駐のソーシャルワーカーを中心とした支援の重要性について -
文京学院大学 平野 裕司
- P42-2 電力に依存している在宅療養者への災害時の対応計画について
長崎大学病院災害医療支援室 山下 和範
- P42-3 在宅療養にて投薬治療中の患者における災害時の避難行動および避難生活における問題点
「学生」東京薬科大学薬学部 臨床薬剤学教室 岡村 和樹

- P42-4 地震における外国人被災者が抱える課題に関する文献レビュー
日本赤十字広島看護大学 大賀 美波
- P42-5 国内外の災害医療と国際人権法 / 国際人道法
～外国人被災者支援の経験および病院 ERU 準備の過程から～
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科 / 消化器外科 / 精神科 / 国際医療救援 /
日本災害医療通訳ネットワーク (J-MIND) 代表 / 国際人権法学会 会員 益田 充
- P42-6 災害時透析患者情報の共有に関するアンケート調査
東北大学大学院医学系研究科 中山 雅晴
- P42-7 DMAT と JHAT の協働について
岩手県立胆沢病院 忠地 一輝

■ポスター 43

2 日目 (3 月 7 日) 17:20 ~ 18:20

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

その他 2

座長 石川 敏仁 (栞記念病院 災害救急医療部)
中島 成隆 (JA愛知厚生連 豊田厚生病院 救急科)

- P43-1 大規模商業施設、アリーナ・スタジアムの防災拠点化
スカパー J S A T 株式会社 宇宙事業部門 宇宙・衛星事業本部 法人事業部
(兼)Sol Levante Sports 株式会社 アリーナ・スタジアム事業部 (防災関連事業担当) 瀬尾 淳
- P43-2 コマンドセンターシステムの活用による災害時の院内業務負荷の不均衡解消の可能性
青森県立中央病院 小笠原 賢
- P43-3 大規模災害時の保健・医療・福祉支援調整の情報システムに求められる機能に関する調査
慶應義塾大学 / (一社) 情報支援レスキュー隊 宮川 祥子
- P43-4 当院における新棟を建築する上での自然災害対策
JCHO 中京病院 江森 達輝
- P43-5 一般医療機関の自然災害による被害や影響に関する文献調査
医療法人徳洲会新庄徳洲会病院 渡会 輝美
- P43-6 本部活動でのクラウドサービス利用に必要な情報セキュリティについて
総合病院山口赤十字病院 末永利一郎
- P43-7 災害医学におけるプラネタリーヘルス
森・濱田松本法律事務所 / カリフォルニア大学ロサンゼルス校 南谷 健太
- P43-8 DMAT 活動における民間航空機移動時の医療機器搬送の検討
沖縄赤十字病院 救急部 金城 雄生

■ポスター 44

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

BCP・マニュアル全般3

座長 寺澤ゆかり(京都第一赤十字病院 医事課)
名知 祥(岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院)

- P44-1 地域連携 BCP の構築に関する研究 ～自治体向けマニュアル作成の試み～
国立病院機構本部 DMAT 事務局 武藤 瑛佑
- P44-2 草加市立病院におけるトップダウン型の災害診療体制の整備：リーダー心得
草加市立病院 災害対策室長 兼 泌尿器科部長 吉永 敦史
- P44-3 院内災害対策マニュアルへの生成 AI サービス NotebookLM 利用の有効性
三重大学医学部附属病院 臨床工学部 行光 昌宏
- P44-4 院内における多数傷病者事故受け入れ体制の整備
日本赤十字社医療センター 長谷川 睦
- P44-5 大地震発生時実際の職員参集状況による災害対応マニュアルの見直しについて
松山赤十字病院 看護部 越智 瞳
- P44-6 DMAT 出動時の携行医薬品準備に関するアクションカードの有用性に関する検討
長野市民病院 薬剤部 金子 泰也
- P44-7 当院における災害時の院内トイレ初動体制の構築
～トイレワーキンググループの活動を通して～
磐田市立総合病院 看護部 西尾 純枝
- P44-8 病院水害対策の標準化
秋田大学医学部附属病院 奥山 学

■ポスター 45

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

災害対策

座長 山田 秀則(名古屋掖済会病院 看護部)
林 宗博(日本赤十字社医療センター 救命救急センター)

- P45-1 取り下げ
- P45-2 部署特異的シナリオを用いた災害看護シミュレーションの実践と効果
JCHO 東京山手メディカルセンター 竹内希実華
- P45-3 我々の透析施設における災害アクションカードの作成と避難訓練前後での災害に対する意識の変化
明生会東葉クリニック東新宿/明生会東葉クリニックエアポート 菅谷 明子
- P45-4 師長対象の BCP に基づくアクションカードを使用した机上訓練の有効性
堺市立総合医療センター/救命救急センター/災害時医療管理センター 福里富美子

- P45-5 名古屋掖済会病院透析室における患者への災害対策指導の実践と課題
名古屋掖済会病院 杉田 愛香
- P45-6 名古屋掖済会病院透析室における災害対策の実践と課題
名古屋掖済会病院 中村 有作
- P45-7 火災対応習得のための周知活動および学習効果の報告
聖路加国際病院 救命救急センター 和田さくら

■ポスター 46

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

災害対応

座長 佐藤 大(東北医科薬科大学 医学部)
佐々木宏之(東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野)

- P46-1 令和5年東三河豪雨経験からの医師会員の水害対応への意識調査報告
豊川市医師会/医療法人平寿会 クリニックすみた 隅田 英憲
- P46-2 筑後久留米地域で生じる災害に対し、今後当院が求められる体制について
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 救命救急センター 救急科 井上 智博
- P46-3 職員の安否や被災情報を集約し、災害拠点病院のニーズに応えた災害対策アプリの開発と現場導入
東京歯科大学市川総合病院 黒田 葵
- P46-4 A県の訪問看護ステーションにおける災害対策の現状と課題
学生徳島大学医学部保健学科看護学専攻 大西 由記
- P46-5 令和6年度台風10号による鹿児島県下の薬局被害状況の安否確認実施と通信障害の影響について
鹿児島県薬剤師会 災害対策委員会 田中 孝明
- P46-6 令和6年9月能登半島豪雨における健康被害に関する聞き取り調査の実施
宇治徳洲会病院 村上 歩紀
- P46-7 能登半島地震発生時における自主参集に関する職員の意識調査
富山市立富山市民病院 梅村 修平
- P46-8 風水害対応における保健医療福祉調整本部の運営実態の評価
防災科学技術研究所 李 泰榮

■ポスター 47

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

能登半島地震～ロジスティクス全般～1

座長 渡辺 勝也(日南町役場 総務課)
小林 誠人(鳥取県立中央病院)

- P47-1 能登半島地震派遣で痛感した排泄環境の重要性
社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院 川村 純江

- P47-2 アクセス困難な被災地での自己完結的な災害医療支援
大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター／災害人道医療支援会 伊藤 裕介
- P47-3 能登半島地震救護活動において大雪による救護所テント倒壊を防いだ事例
石巻赤十字病院 魚住 拓也
- P47-4 能登半島地震における基幹災害拠点病院の DMAT 業務調整員活動報告
石川県立中央病院 奥村 悠祐
- P47-5 災害時における救援物資の流通についての課題～能登半島地震の支援を通して～
埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター救急科 (ER) 佐藤 彩香
- P47-6 A 病院における能登半島地震での水の被災状況把握について、
「イラストを用いた現状把握シート」の有効性の検討
厚生連高岡病院 南本 祐希
- P47-7 令和 6 年度 能登半島地震における輪島市の災害時通信確保
－ SpaceX 社製 STARLINK による迅速な対応策
松阪中央総合病院 向井 慎治
- P47-8 令和 6 年能登半島地震における日赤救護班派遣を振り返って
～チームを送り出す側から～
日本赤十字社福島県支部 久保 芳宏

■ポスター 48

3 日目 (3 月 8 日) 15:00 ～ 16:00

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

能登半島地震～ロジスティクス全般～ 2

座長 裕 光司 (国立病院機構北海道医療センター 救急科)
松園 幸雅 (荒尾市立 有明医療センター 救急科)

- P48-1 能登半島地震における活動で見た宿泊地におけるロジ要因の課題
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 危機管理部 葛井 沙織
- P48-2 能登半島地震において不慣れな積雪地帯への移動経路を振り返って
松山赤十字病院 野本 崇
- P48-3 取り下げ
- P48-4 能登地震でのロジスティクスチームの活動時の環境を振り返り、災害時のキャンピングカーの有用性を検討する
医療法人社団成和会 西新井病院 須永 吉徳
- P48-5 能登半島地震における救急救命士の業務調整員としての活動
埼玉医科大学国際医療センター 遠山 笑里
- P48-6 能登半島地震 継続支援するための車両の確保に関して
総合南東北病院 藁谷 暢
- P48-7 能登半島地震における夜間救急搬送中に発生したタイヤのパンク事例報告
飯田市立病院 矢澤 裕明

P48-8 能登半島地震災害への DMAT 派遣経験を通じて学んだロジスティクスの重要性

松山赤十字病院 検査部 長谷部 淳

■ポスター 49

3 日目 (3 月 8 日) 15:00 ~ 16:00

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

学生教育 1

座長 加納 秀記 (愛知医科大学病院 救急診療部)
高岡 誠子 (一般財団法人 日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部)

P49-1 医学生の病院災害対応活動への参加を目指して作成したカリキュラムに基づく研修の実施

東北医科薬科大学 医学部医学科 浦尾 樹正

P49-2 災害医療ロジスティクス演習から考える多職種連携における薬剤師の役割

福岡大学薬学部 荻 桃菜

P49-3 履修者として関わった医系学生災害医療ロジスティクス演習で得られたもの

学生 長崎大学 医学部 医学科 下野 舞花

P49-4 看護学部生が DMAT 活動拠点本部訓練に参加することによる教育効果

千葉科学大学 看護学部 本庄 貴志

P49-5 大規模災害時における医学生の果たせる役割と今後の展望
~ 救急サークル活動・大規模地震時医療活動訓練 in 館山を踏まえて ~

千葉大学医学部 千葉大学救急サークル C-TAT 所属 上野 真幸

P49-6 津波被災が想定される大学の医学生を対象とした拡張現実 (AR) 浸水没入体験とエアーストレッチャー搬送訓練に対するアンケート調査研究

学生 三重大学医学部医学科 金藤 永実

■ポスター 50

3 日目 (3 月 8 日) 15:00 ~ 16:00

ポスター会場 (第 1 展示館 1 階 第 1 展示館ホール B)

学生教育 2

座長 丹羽 一晃 (愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻)
豊田 泉 (岐阜県総合医療センター 救急科)

P50-1 救急救命士課程の学生を対象とした多数傷病者対応訓練の実施

東北福祉大学健康科学部医療経営管理学科 野原 正美

P50-2 群馬県内の薬学生実習受け入れ施設における災害実習に関するアンケート調査

NHO 高崎総合医療センター 薬剤部 及川 瞬

P50-3 医学生に対する放射線被ばく対処教育の短期定着効果

防衛医科大学校 防衛医学講座/防衛医科大学校病院 検査部 吉松 真也

P50-4 防災教育の必要性について

公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会/東海医療専門学校 榎本 恭子

- P50-5 医学科学生の防災意識、準備状況、知識に関する現状調査と学生主導講義の効果に関する検討
岡山大学 医学部医学科 平野 里桜
- P50-6 へき地勤務のある医学生には災害教育が必要である
～医学生へのアンケート調査～
自治医科大学 医学部 救急医学講座／自治医科大学 医学部 災害医学講座 米川 力
- P50-7 藤田医科大学アセンブリ教育における災害医療への取り組み
～南三陸病院の経験の伝承～
藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦

■ポスター 51

3日目（3月8日）15:00～16:00

ポスター会場（第1展示館1階 第1展示館ホールB）

学生教育 3

座長 中谷 宣章（東京慈恵会医科大学病院 救急部）
島崎 哲弥（富山市立富山市民病院 臨床工学科）

- P51-1 卒前教育における学生の身近な災害経験を教訓とした演習の取り組み
富山大学附属病院 災害・救命センター 館 祐香里
- P51-2 多様な災害への認識・従事意図は大学のカリキュラムや社会的役割によって差が生じた
—日本の医学生を対象とした横断研究—
福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座／福島県立医科大学附属病院 災害医療部 長谷川有史
- P51-3 初年次より継続した災害看護カリキュラムにおける課題
日本赤十字豊田看護大学 中島佳緒里
- P51-4 日本の看護学学士課程で教授される災害看護に関する教育内容の傾向
鈴鹿市役所 森 和真
- P51-5 看護基礎教育課程における災害看護技術教育の実践と課題
日本赤十字豊田看護大学 長尾佳世子
- P51-6 看護学生による防災訓練参加での防災意識の変化と学びの効果
修文大学看護学部 夏日恵美子

■ポスター 52

3日目（3月8日）15:00～16:00

ポスター会場（第1展示館1階 第1展示館ホールB）

成人教育・研修

座長 末永利一郎（総合病院山口赤十字病院 医療情報課）
青木 正志（茨城県立中央病院 看護局）

- P52-1 履修プログラムによる災害支援教育の概要と今後
熊本大学病院災害医療教育研究センター 内藤 久貴
- P52-2 災害支援を学ぶ避難所研修の有用性
熊本大学病院災害医療教育研究センター 内藤 久貴

- P52-3 無医離島群における災害教育
鹿児島赤十字病院 平田 悠哉
- P52-4 災害時看護職ボランティアの育成：
救急救命士が企画する地域サポートナース研修会の報告
地域創成防災支援人材教育センター（R-CEC） 近藤 誠人
- P52-5 DMAT 事務局災害等危機管理専門家養成コース（CMTP）についての報告
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局／
日本体育大学 大学院保健医療学研究科 救急災害医療学コース 大山 凌治

■ポスター 53

3日目（3月8日）15:00～16:00

ポスター会場（第1展示館1階第1展示館ホールB）

病院災害訓練 7

座長 山畑 佳篤（京都府立医科大学 救急・災害医療システム学）
谷口健太郎（松阪中央総合病院）

- P53-1 当院における院内 DMAT 研修の取り組みについて（第2報）
ひだか病院 藤本 順智
- P53-2 災害拠点病院に所属しない DMAT 隊員のできること
医療法人 永井病院 救急科 家城 洋平
- P53-3 一人でも多くの職員が災害訓練に参加する工夫
公立昭和病院 救命救急センター 小島 直樹
- P53-4 受援側に立つ二次救急輪番病院の災害訓練のあり方について考える
一般財団法人 永頼会 松山市民病院 臨床研修科 真鍋 海
- P53-5 当院における災害対策チームメンバー教育の取り組み
独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 高橋さなえ
- P53-6 全職員参加型災害対策本部訓練の展開
地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 村上佑太郎
- P53-7 当院で実施した災害訓練の被害状況報告書についての検討
埼玉医科大学国際医療センター 岸田 全人

■ポスター 54

3日目（3月8日）15:00～16:00

ポスター会場（第1展示館1階第1展示館ホールB）

病院災害訓練 8

座長 若狭 真美（京都第一赤十字病院 救命救急センター）
橘 岳志（大阪府済生会千里病院 診療支援部）

- P54-1 休日における放射線部事業継続計画を想定した緊急連絡訓練の実施
獨協医科大学病院 放射線部 村岡 祐基
- P54-2 休日想定災害初動訓練の企画実践から得られた知見
国際医療福祉大学塩谷病院 伊沢 雛子

- P54-3 取り下げ
- P54-4 札幌市災害時基幹病院の水害対策訓練実施報告
勤医協中央病院 田口 大
- P54-5 災害大国日本における研修医の新たな役割 災害時の情報収集と後方支援
鹿児島市立病院 上田 怜
- P54-6 アクションカードの改定と勉強会実施による災害への意識変化
市立大津市民病院 佐山 智美
- P54-7 当院血液浄化治療部における災害対策への取り組み
島根大学医学部附属病院 森山詠美子

■ポスター 55

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

病院災害訓練 9

座長 小澤 和弘(愛知医科大学 災害医療研究センター)
石原 哲(医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 診療部)

- P55-1 災害拠点病院としての取り組み：
当院の後押しで災害診療訓練を行うまでに至った1病院例
草加市立病院 看護部 DMAT 國分 秀人
- P55-2 災害訓練に参加した病院職員に生じる行動変容の検証
川崎市立多摩病院 救急災害医療センター/聖マリアンナ医科大学 救急医学 野村 悠
- P55-3 災害発生時に備えた参集体制の平時からの理解促進の重要性
京都府立医科大学附属病院 看護部 鴨島 尚美
- P55-4 一般病院の災害ワーキンググループが”減災カレンダー HDMG”学習を継続して
~BCPの充実につなげる~
亀岡市立病院 林 裕佳
- P55-5 A病院の災害対策本部構成員を対象とした意思決定に関する机上訓練の評価
ーインストラクショナルデザインを活用してー
一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院 松崎佳小里

■ポスター 56

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

地域・他組織連携 5

座長 白倉 透規(立川メディカルセンター 立川総合病院 入退院支援部門)
金子 唯(藤田医科大学ばんだね病院 救急科)

- P56-1 湘南慶育病院における地元遠藤地区区民を対象にした災害研修の報告
湘南慶育病院/公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 朝日山一男

- P56-2 地域の特別支援学校「ぼうさいまつり」への看護学科学生の運営協力経験
—2年間の実践報告—
東海大学医学部看護学科 大山 太
- P56-3 当院における地域町内会との合同災害訓練について
医療法人社団 刀圭会 協立病院 堀田 美枝
- P56-4 地域を守る医療人材養成講座開催の意義
熊本大学病院災害医療教育研究センター 内藤 久貴
- P56-5 防災意識尺度の多言語化に関する取り組み（第二報）
～防災意識尺度のベトナム語版調査について～
名古屋市立大学 経済学研究科 NGUYEN HAANH
- P56-6 伊勢湾台風から65年・地域住民と共に行なう市民防災事業と今後の課題
大野医院 杉山 清美
- P56-7 当院新設DMATのパブリック・リレーションズ（PR）活動
加古川中央市民病院 救急科 佐藤 圭路

■ポスター 57

3日目（3月8日）15:00～16:00

ポスター会場（第1展示館1階第1展示館ホールB）

地域・他組織連携 6

座長 瀬戸 弘和（伊東市民病院 薬剤室）
加藤聡一郎（杏林大学 医学部救急医学）

- P57-1 大規模地震時医療活動訓練における埼玉県での福祉施設支援訓練への取り組み
埼玉医科大学病院 清水美砂子
- P57-2 令和6年東北ブロックDMAT参集訓練で発見した介護老人福祉施設におけるDMAT
支援の課題
一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院 薬剤科 塚本 宇史
- P57-3 災害拠点病院と在宅医療・介護との連携
京都府立医科大学 救急・災害医療システム学／医療法人双樹会 よしき往診クリニック／
地域医療連携推進法人 Just2Ys League 宮本 雄気
- P57-4 災害時における他機関連携訓練
医療法人徳洲会 千葉西総合病院／日本DMAT 阿部 美咲
- P57-5 墨田区・病院合同総合災害対応訓練における他組織・他職種連携
正志会 平成立石病院／公益社団法人 墨田区医師会 大桃 丈知
- P57-6 日本災害医学会セミナーを活用した地域多職種連携体制の構築と課題
社会医療法人弘道会なにわ生野病院 高岡 由美

■ポスター 58

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

多職種連携

座長 伊崎田和歌(千葉県総合救急災害医療センター リハビリテーション科/害医療局)
佐藤めぐみ(福島県立医科大学附属病院)

- P58-1 有事を乗り越える地域の「つながり」
～有事における地域リハビリテーション行動指針策定に向けた取り組み～
千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域支援センター 地域リハ推進部/
千葉県リハビリテーション支援センター 太田 直樹
- P58-2 当院リハビリテーション科における災害対策の強化・推進
～災害時に動ける組織作り～
旭川赤十字病院 古澤 貴裕
- P58-3 当院リハビリテーション科における車椅子を用いた階段での患者搬送
旭川赤十字病院 山縣 亘
- P58-4 愛知県理学療法士会員の大規模災害に対する意識調査
公益社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 森 雅大
- P58-5 災害に対する作業療法士の関わり方についての検討
国際医療福祉大学塩谷病院 土屋結有花
- P58-6 災害対策地域医療機関連絡網における臨床工学技士間のつながり
偕行会セントラルクリニック 加藤 碧
- P58-7 日本超音波医学会による携帯超音波診断機器貸与に係る活動について
国立病院機構金沢医療センター 小見 亘

■ポスター 59

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

避難所

座長 高村 ゆ希(東京科学大学病院)
岩田 充永(藤田医科大学)

- P59-1 避難所における医療支援の実態と医療に関する不安：
避難所生活経験者へのアンケート調査
兵庫医科大学薬学部 永田 実沙
- P59-2 災害派遣福祉支援チームの避難所活動の類型化に関する調査研究
- 医療・保健・福祉連携による支援活動の創出に着目して -
静岡県立大学短期大学部 鈴木 俊文
- P59-3 BHELP 開催の現状と今後の展望
埼玉医科大学総合医療センター/BHELP 運営委員会 増田由美子
- P59-4 避難所運営における支援団体連携の試み～九都県市合同防災訓練の事例から～
千葉県千葉リハビリテーションセンター 後藤 達也

P59-5 青森県における厳冬期・酷暑期に対応した防災対策の実態
弘前大学医学部保健学科看護学専攻 大島 亜月

P59-6 サーモグラフィ画像を活用した避難所の環境衛生管理
オフィス環監未来塾 中臣 昌広

■ポスター 60

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

災害関連死・遺族対応

座長 夏川 知輝(淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科)
本村あゆみ(国際医療福祉大学 医学部法医学)

P60-1 遺体収容施設における情報共有に関する考察
社会医療法人へいあん 平安病院 滝 友秀

P60-2 平常時の死亡との比較を通じた災害関連死の特徴分析
エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 永門 航

P60-3 孤立した避難所におけるCPA傷病者の蘇生終了(TOR)の課題
鳥取県立中央病院 岡田 稔

P60-4 災害関連死と道路インフラ被害の関係性
芝浦工業大学 藤田進太郎

P60-5 令和6年能登半島地震での災害関連死の特徴および起因となった生活上の要因：
新聞記事をもとにした分析
石川県立看護大学看護学部 木田 亮平

P60-6 石川県能登半島地震における遺族支援
愛知医科大学病院 看護部 高度救命救急センター/HCU 櫻川真由子

■ポスター 61

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階 第1展示館ホールB)

医療・生活の維持

座長 森田 浩史(福井大学医学部 救急医学)
坪山(笠岡) 直代(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 災害栄養情報研究室)

P61-1 ぼうさいこくたい2024におけるワークショップ「差別・人権侵害の歴史」の開催
国立病院機構本部 DMAT事務局 中務 智彰

P61-2 被災地支援後におこなった自院における災害時トイレ問題に対する取り組み
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 松本 恵美

P61-3 ポスト働き方改革の医師の選択
医療法人社団季邦会 鎌形 博展

P61-4 災害拠点病院の傷病者受け入れ時に使用する諸室と使用される可能性のある諸室に関する調査研究
日本大学 江川 香奈

- P61-5 島嶼地域における備蓄や非常時の食に関する質的研究
鹿児島女子短期大学生生活科学科食物栄養学専攻／鹿児島県栄養士会災害支援チーム 改元 香
- P61-6 「場」・「共感」・「距離」を認識して避難所のあり方を考える
一混乱の中で早期に秩序を形成しレジリエンス発揮のために一
福島県立医科大学大学院 災害危機管理看護学講座 橋本真由美
- P61-7 南海トラフ地震時の入院患者の生活・医療をどう維持していくか。
中部労災病院 外科 橋本 瑞生
- P61-8 災害用のヘルメットについて
徳山中央病院 清水 弘毅

■ポスター 62

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

車両関連

座長 豊田 信之(柏市消防局 沼南消防署 消防管理室)
村尾 佳則(八尾徳州会総合病院 救急科)

- P62-1 当院 DMAT 隊員の普通自動車第一種運転免許で運転可能な車両について
島根県立中央病院 松井 賢
- P62-2 救急車運転員の育成に向けた新たな取り組み
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 石川 貴久
- P62-3 実災害時出動後における DMAT 車両内の見直し
岩手県立胆沢病院 看護科 三田 涼
- P62-4 能登半島地震を経験して感じたドライバースキルの必要性
医療法人辰星会柊記念病院 齋藤 諒太
- P62-5 当院の、マルチタスクに備えたコンボイ出動有用性の検証
国立病院機構 水戸医療センター 石上 耕司
- P62-6 コンボイとは言うけれど・・・。
初動の奥能登で複数チームが安全に移動することの難しさ
岐阜大学医学部付属病院 高次救命治療センター 吉田 隆浩
- P62-7 DMAT カーを鉄道で運んだ話～令和6年度大規模地震時医療活動訓練での報告
神戸大学医学部災害・救急医学分野 高山 和之
- P62-8 鉄道による DMAT 車両輸送を経験して
神戸市立医療センター中央市民病院 臨床工学技術部 高橋 哲哉

■ポスター 63

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

災害とこども

座長 武田 徹(国立病院機構 DMAT事務局 新興感染症対策課)
山口 順子(日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野)

- P63-1 令和6年能登半島地震における災害支援活動
～避難所における子どもたちとの協働を経験して～
蒲郡市民病院 石黒 正崇
- P63-2 コロナ禍でのこどもメディカルラリー開催
藤沢市民病院 菊地 斉
- P63-3 医学生・看護学生による小学生対象のHUG出前講座
浜松医科大学 加茂鈴桜七
- P63-4 さぬき子どもメディカルラリーにおける防災教育
医療法人社団光風会三光病院 八木 友幸
- P63-5 大規模災害後の子どもの生活に関する文献検討
第1報 災害サイクル別の子どもが経験する事柄の文献検討
防衛医科大学校 医学教育部看護学科 小児看護学講座 本宮めぐみ
- P63-6 大規模災害後の子どもの生活に関する文献検討
第2報 災害別子どもの遊びの文献検討
防衛医科大学校 医学教育部看護学科 小児看護学講座 本宮めぐみ

■ポスター 64

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

原子力・被爆2

座長 山下 公子(大阪医療センター 総合診療科)
久野 将宗(日本医科大学多摩永山病院)

- P64-1 原子力災害拠点病院における医療従事者等の配置の現状と課題
浜松医科大学医学部附属病院 医事課 加藤 真嗣
- P64-2 被ばく医療における医療従事者の不安軽減策
弘前大学災害・被ばく医療教育センター 辻口 貴清
- P64-3 千葉大学の複合災害への備え - 原子力/放射線災害対応強化に向けた取り組み -
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学/
量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 被ばく医療部/千葉大学災害治療学研究所 栗田 健郎
- P64-4 原子力災害拠点病院に勤務する医療従事者における原子力災害発生時の従事に関する
認識調査
済生会川内病院 小林 香織

P64-5 原子力災害医療派遣チームの派遣にかかる今後の課題
～令和6年度愛媛県原子力防災訓練より～

愛媛県立中央病院 馬越 健介

■ポスター 65

3日目(3月8日) 15:00～16:00

ポスター会場(第1展示館1階第1展示館ホールB)

新型コロナウイルス感染症

座長 古賀 聖典(山口県岩国環境保健所)
山本 尚範(名古屋大学医学部附属病院 救急科)

P65-1 新型コロナウイルス感染症対応における救急センターの機能維持と課題について

堺市保健所感染症対策課 康 萌瑛

P65-2 感染症指定医療機関におけるCOVID-19に対する危機管理体制のあり方と
Incident Command System との類似性の検討

地方独立行政法人 市立秋田総合病院/国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 山本由紀子

P65-3 関西空港検疫所における、厚生労働技官(看護師)の重要性について
—新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対応を経験して—

厚生労働省 関西空港検疫所 岩崎 剛

P65-4 ホノルル市郡メディカルエグザミナー事務所における新型コロナウイルス感染症遺体
対応に関する調査報告—災害時の遺体対応への応用—

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 法歯学 齊藤 久子

P65-5 COVID-19パンデミック下の医療機関における職員への精神保健および心理社会的支
援の実態調査①

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所/諏訪赤十字病院 森光 玲雄

P65-6 コロナ第8波期間中の広島県フォローアップセンターにおける電話対応時間の関連要
因の検討:広島県COVID-19版J-SPEED分析

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 弓屋 結